

漢 城 新 報

<제 3 권 : 1896년(명치 29년) 5월 ~ 8월>

5월 : 1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15, 17, 19, 21, 23, 25, 27, 29, 31

6월 : 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30

7월 : 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30

8월 : 1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15, 17, 19, 21, 23, 25, 27, 29, 31

<NO 1 마이크로필름본(1895년-1896년) >

批旨省改其悉照恩伊璋等之不由設官衆所共知今之人官自歸失實至於下獄所謀不必知是爲引印云勿謂視務事體部章論

●法令類聚之圖이라
보과에서 法令類聚의 要인은, 이나라의
슈티켓은, 다 되고, 시방 그 法令의
스니, 오래 치안코, 반포되리라더라

●外部及中樞院
之移廳

지작일판보에
표적으로, 내리치

말씀이, 의부들, 중추원의로움기교
중추원을, 전중추원(관보파)에, 을
기게되얏더라

● 五投探脈之風說

財務가 妥當히 世에 敎育하려고 그러하

지, 전국 팔도에 적마당, 리원, 관구씩

북새로 날아가는 자의 그림자가 있다며

라. 而 故 亦 그 折 稅 課 稅 之 法 也 分 二 故 亦

2. 2015. 10. 20. 10:00 ~ 10:30

고종실록에서, 이 일대(一畝)의 밭으로, 두

백아문에서 쉬

한글이요, 한글을

키, 그 다음으로, 열도, 거의, 다

야스므로, 네일부터 實地하다라느

소문이 잇스되, 아적, 저세치아너

하
더
라

● 軍紀不嚴

●魚鹽稅賦之困窮

제외 지방에 출역함

고사군이유가면의 1905년

한글로써 한글을 배우는 법

[illegible]

뜻고, 벼슬이나 어드라고, 財主호드

자가 된바에 이르러서도

전에 그 두 자 앞거니와, 이 사람들에

서, 官吏로 되어 있는 사람도, 官吏가

1

Figure 1. The effect of the concentration of the polymer solution on the morphology of the polymer film. The polymer solution was prepared by dissolving 0.1 g of polymer in 10 mL of solvent. The polymer solution was spin-coated on a glass substrate at 1000 rpm for 30 s. The polymer film was then dried at 100 °C for 24 h. The morphology of the polymer film was observed by scanning electron microscopy (SEM). The images show the morphology of the polymer film for different concentrations of the polymer solution: (a) 0.1 g/10 mL, (b) 0.2 g/10 mL, (c) 0.3 g/10 mL, (d) 0.4 g/10 mL, (e) 0.5 g/10 mL, (f) 0.6 g/10 mL, (g) 0.7 g/10 mL, (h) 0.8 g/10 mL, (i) 0.9 g/10 mL, and (j) 1.0 g/10 mL. The images show that the morphology of the polymer film changes from smooth to rough as the concentration of the polymer solution increases.

우리 토씨

五

하는지라

이
원
치
는

天明臨于東

이라

십오세

이집의 정치

Religious

서
버
러

1. The first step in the process is to identify the problem or issue that needs to be addressed. This involves gathering information and understanding the context of the problem.

1. The first step is to identify the problem or question that needs to be answered. This involves understanding the context and the specific requirements of the task.

天恩
最府開閣下 戒邑上、其狀을
敍聞하옵시고、命詔수 만 원을 恤하옵
섯더라、天恩말은 뜻 없애 과지 하겠
습

제자 다가삼부나귀신호분

叙任及辭令

三品 李連斗

三品 申寬五

三品 崔文卿

商濟報

以上六月二十六日

為平議府保調監煮費只

軍器監務司局改備耳

兒本殿

여와서, 꽃그몬으로, 의원을청하이

全第一大隊中隊長	正副	金銀
軍部砲工局工兵隊員	參財	趙開
休職	副財	洪政
任正財	副財	安旅
任副財	參財	金由
	李抱	

에 박성근이란 사람으로 올해 이십

任參財	正財	洪汝璣
補軍部工部工兵隊員	參財	金南財
補軍部軍務局政課員	外務主事	朴瑞希
任駐美英公使館二等參書官級參任官四等		

以上六月二十七日

고, 모친이, 靑色甘食方 시문 보았나

同日處分存事後遊宮內府大臣李誠同漢城府
幕使俞錫徽設席并分陳
建國元年六月三十日奉
勅 內閣總理大臣 尹 容 善
紀勳開勞有國典與駐英美國分全權公使李

가져가자고, 그 문에서, 엿보느라

宣統元年六月三十日奉
勅 宮內府大臣 李 鈞 奏

社告

今因本社新設，地方廣闊，諸君便利，合宜。經繪支、亞當所門。으로 約定，定議支、亞當所。

○ 夏 7 5 工 万 1 1 万

陽明經絡實則諸君은 白飯飯一兩一兩二錢
原과 陽明經絡七錢五分을 本壯에 光給으로
하시면 陽明經絡에 光을

之

三朔間	先務	三朔五以
六朔間	先務	六朔七以五分
地方諸務		每月第過稅之錢五
價高價		主者會同出仕之者三員
		이 且 稅及回數로 未 차 者
		술 일 밧 고 此 諸 務 價 도 선 급

●日本東北部
之大海嘯

官報抄錄

叙任及辭令

三品	李鍾斗
三品	申寶五
三品	崔文輝
高齊龍	

正財	李俊取
正財	金興烈
正財	趙開

副尉	安汝錫
參尉	金由熙
青務官	李龍漢
六品	金南熙

參財 金南記
記主 朴銘泰
教主任 許四等

尹容菴

한글서체

一兩二兩二錢
一兩二兩二錢
一兩二兩二錢

三分
二錢五分
五錢
七錢五分
九錢五分
一兩

로 좇아 차서
음도 선금

社
告

建國元年六月三十日奉
勅 宮内府大臣 李 致 均

宮内府大田 季 撰

社告

禮告

今日本社新報「地方購取」에 便利함을

聖德太子神廟の御祭神

옛더니 廣西工部衙門에서 招可되얏스리

[illegible]

十
八
七
六
五
四
三
二
一

原과 鄭邊校七錢五分을 본산에 先給으로 보

서시면역보시음

新開紙復原

新編 國語 第一 次 二 三 分

第一期	先給	一兩二錢五分
第二期	後給	一兩二錢五分
第三期	先給	一兩二錢五分
第四期	後給	一兩二錢五分

三陽間 先格 三陽五以

六兩圓	先給	六兩圓	五分
地方諸君		每月納還稅七錢五分	

地方賦課者	毎月納税七錢五分
領收額	右三箇村五十二兩三錢

이요 經及同數로 示차서 가

이요 經及回數로 示 차셔 各
술 曰 此 國 昔 曰 도 示 金 曰

슬겔 밧고 此國者何도 셤금
밧스로 읍

特別廣告

居留民一般

當地在留本邦人ニシテ...

一等領事内田定植

居留民總代役場

右ノ通事...

日本東北部大海嘯

去月十五日夜より十六日朝にかけて...

山陵の奉養...

大正天皇の御喪...

皇太后の御喪...

皇太后の御喪...

李純督軍...

李純督軍...

李純督軍は從來...

趙慶雲...

趙慶雲は...

趙慶雲...

趙慶雲は...

趙慶雲...

趙慶雲は...

趙慶雲...

趙慶雲は...

趙慶雲...

趙慶雲は...

趙慶雲...

趙慶雲は...

趙慶雲...

趙慶雲は...

趙慶雲...

趙慶雲は...

趙慶雲...

趙慶雲は...

趙慶雲...

趙慶雲は...

趙慶雲...

趙慶雲は...

趙慶雲...

趙慶雲は...

趙慶雲...

趙慶雲は...

資格を失ひたるに、より補欠職員森田二、中村友次郎の二氏入に、其欠を補ひ、副長の選挙は、昨日午後四時より、總代校庭に於て之れを舉行せし、中村再選、氏當選せり。

● 興業團亦、城史部假會式の模様

於一
不
不

昨日午後四時過ぎより井田樓にて舉行せり。當日の出席者は三十七名にて先づ副團長及團長三日の出席者は三十七名にて先づ副團長及團長

支那及 和田常一 副部長・松田行雄
評議員 森 房二 左近倉太郞
中村再逸 山口太負爾 若下 彌助
若佐武男 岡 林太吉 前川伊之助
早田實六郎 山下 正

●三島氏の薨仁 三島氏は本日薨仁の將なり因みに記す丁卯夜
十四五名に遠し居る由

英禁烟京城支路買中の有忠者と盤役會支團會
後氏の爲りに雄別の實を授けたりと云ふ
●市街面擴張の一端 漢口府觀察使兼英領
氏は此種一の市街を假し京城支路改修後

決して歐米其他の如く物と街路は離れてすべからず、
又其の者は駢列すべしと試意を人民に施した
りといふ時漸く盛昌に向ひ惡逆流行の虞も有
れば、遂に一帯全市街の大掃除とも實行ありた

●京坂市民の戸口
●此項調査題にて調査せし京坂々内及城外の籍人口は左の如くあり

合計	戸数	二萬二千九百七十四戸
市内	人口	十一萬七千九百五十八
市外	戸数	一萬四千七百六十三戸
人口	六萬二千七百八十七人	
戸数	三萬七千七百三十七戸	
人口	一萬七千七百三十七人	

●泥岨と南大門通(修理)
(永前)

存は道教と主したる家屋は嘉享五六月頃まで
 に略し壊解せられしも路面の品回廊は未だ削
 平せられず流石南風の流溢處は未だ破損せら
 れず是に於て我が領事館は新路の開削に附し

て海濱を開墾し路面の西側を平均して新たに
土留を修り以つて之れが修繕と完成せしむる
を欲し之れに要する經費を見積らしりたるを
有大明通より見取を添て付圖に添する街路

と経理するのみにして凡そ一萬圓内外を算
をべしとのことゝて當時我が印刷業の事情世
の如き多額の経費と支出するは頗る困難を
しむるも然れども此にして上二んか泡盛一銚

は日と逐つて京師に如き途に朝鮮義海軍現るゝ
見處るの境と化して從來該地方に海軍と關係
し朝鮮軍國と所有するものは之が爲めに互
移の損害を蒙ひるべく且つ我が領事館が望む

経國の爲り特に其の新に聯合の當國政府として已に海道の民衆を激勵せしめたる初志は一且にして泥濘に墮すべし是れ亦た實に遺憾の極なり然れば我が領事館は以ては居るべき

の實なるものと相違して廢之を論ぜしめ、
以て廢種社會を勵まして屏之と對峙せしむ
る爲めの目的を達せしむるに勉めしが遂に種

原爲新選の至りに任のゝがし
 上疏者たる金頭頭、き昌漢、
 曾錫允の諸氏は
 十數日間、閣下に伏し、批評の
 下るを待たれりしも如何なる
 説にや其のさう却下せられた
 りと

既記の如く、維新和樂團の成立は、一

目下地方に出征の親衛兵は其數千五百名もあらんもの事は先程の紙上に記述しが今其配置をふまえて云々右は凡て九隊に分かれ、軍師は親じり有事地方の要地ハヶ所を指定し各地に一隊也と分屯せしむるが如し我軍留守

備隊の配賦の如くし以て各地の間互に氣脈を
通じ緩急相應せしり一地方に暴徒聚來すれば
直に其附近に駐屯せる兵と以て之と擊攘し叛
變として與の力之を制斷する者は皆これ也

に急報して其懇嘆を求めしむるの方法にして
 爵は他の一族は遊樂隊として絶へず各地を巡
 行せしむるを以て暴徒の蜂起を制止し鎮

●大邱の小戦 北門大邱附屬に於て同地駐屯の官兵は一群の暴徒と衝突し数回の戦闘を爲したるが頗る隙を新地に占り下咽して發砲するを以て官兵は勢に之に近づく能はず已む

と傳ふ。却て始めたるに、勢は勢に爲し、臣上より下りて、迫解し、官兵之を見、取て歸して、楚に又々交戦と、始めに楚を逼退したる、曾胡府親王、使より餘延に報告ありたりと云ふ。

● 蝦夷の斬首 忠清道鎮川及び木川地方の
 蝦夷二名は此所將兵の手に捕はれ直に斬首せ
 られたりと云ふ

● 水原の砲手 祝西中隊及申羽均氏は今避

は其郡下と共に水原に留屯し同地方の守備に
任じ居れる由あるが氏と此程本年勅令第二十
八號有事の地方各縣兩千數段に關する規模に
基き郡守と協同の共同地に百餘名の砲手と募

榮し爾來之が加増を公し居たりと云ふ

●武官の任免 去月二十六日軍務事務局
政議員副財源増氏は本職を免じて更らに軍
務院工務主任員に補せられ、親衛第一聯隊

副官正尉李敏用、同第一大隊中隊長正尉金興烈、軍需施工局工兵課長給尉趙龍の三氏は何れも休職を命ぜられ、副尉安東鎭氏は正尉に給尉由前胡氏は副尉に、警務官李龍鎮氏は參

野に任ぜられ、六品倉南親氏は参府に任じ、軍部事務局財政課員に補せられた。

● 候補監獄委員 三品李鍾斗、三品申寬五、三品崔文卿、高評院鄭四氏は去月二十六日早

●傳語官候補者 西比利亞に出稼して勞役
等に從事し得る露語を解するに至りし朝鮮人
が近來本國風習の變と聞き傳へ何の官職も有

り附かんとて附來する諸類を相續くと云ふ所
して此等の中已に實地に採用せられたる者も
多き由なるが未だ預附の恩典を蒙らず日々無
益企足して大旱の雲霓を察じも曾ちらざるの

も右は迫て露國駐日公使の上之之が傳言官として武官學校及び軍隊に顧問せらるゝに至るべしと云ふ

○原員補欠を以て長原 富房留地會館より
（河上休兵衛、副員松本惣次郎、田口氏は西朝）
來已に三ヶ月と經過せしを以て何れも選外（

新くて愈々改修に着手せしは昨年八月下旬よりし然るに右改修頃決道所以外に於いて是

必要なる場所を指定す所から場所を指定す

解くて泥成内及び之れに屬する三方の通路を
沿ひ進み、と進したる家屋は、享孝五六月頃まで
に略し撤去せられしも、路面の凸凹處は未だ削
平せられず、流沙の類は未だ残存せら

凡そ是に於て我が領事館は商務の兩側に沿ひて
 海關を關鑿し路面の凸凹を平均して新たに
 土師を修り以つて之れが條理を完成せしむる
 と欲し之れに要する經費を見積らしむるを

南大門通りより泥城を経て竹園に遇する街路
を越遷するのみにしても凡そ一萬圓内外を算
すべしとのことにて當時我が船舶界の事情此
の如き多額の経費を支出するは頗る困難を

うしかも然れども此にして止まんか泡姫一斬
は目と還りて京師に如き途に關家神狐遇ふ
現世の境と化して從容談地方に而して關脫
し此所聚盟と所有するものは之れが爲りに百

移の煩密を蒙るべく且つ我が領事館が僅に
経費の爲り特に其の新に掛合ひ當國政府とし
て已に沿道の民衆と飲料せしめたる初志は一
旦にして荒廢に歸すべし是れ亦た實に遺憾の

其の眞なるものと相違して廢す之を論告し或は
以て基督會を削ぎて廢す之を討ぜしめ以つて
當初の目的を達せしむるに勉めしが遂に格

神ノ古今ナリハズ邦ノ東西ニ論ナク酒糟類ノ飲料アラザルハナシ古昔ヨリ酒ハ酒
 酒ハ百藥ノ長ナリト又云フ酒ハ愁ヲ補フノ符ナリト蓋シ又タ理ナキニ非ラズ今マ其ノ理
 然レ所以チ略陳スルバ
 第一之レチ飲用スルバ体温ヲ増進ス蓋シ酸素ノ消費ヲ盛ソナラシムレバナリ以テ
 食取ノ不足ヲ補フニ足ルベシ
 第二之レチ飲用スルバ精神ヲ興奮シ以テ精神ノ疲勞ヲ醫ス可ク遠征ノ氣象ニ當マ
 シムルヲ得ベシ
 第三之レチ常用スルバ血液ノ循環ヲ迅速ナラシメ以テ筋肉ノ營養ヲ盛ニシ得ベシ
 身床ノ健全ヲ計ルヲ得ベシ
 以上掲ゲタルハ皆ナ獨用ブデク酒ノ効ニアリ斯ノ如クナランバ沈鬱憂悶性ノ人ハ之レチ
 用ヒテ能ク其ノ精神ヲ興奮シ其思慮ヲ醒醒シ其志氣ヲ除キ其疲勞ヲ去ルヲ得ベキナリ
 加之既ニ我邦軍醫ヨリ左ノ如ク實效ヲ奏シタル以ツテ我が地球印適用ブデク酒ノ良好
 ナルヲ知ルニ足ルベシ

發賣元
朝鮮國特約店
伊部商店
隈本商行

軌跡ハ本邦ヲ脱シテキムリ始終太閤ノ迹ヲ通ヒ
 京ノ正下ヲ經過スルノ間度ニ及ビ諸ノ御覽
 御下見サシテ御覽御下見サシテ御覽
 以上ノ實狀證明ニ敬シテ知シベキナリ
 東京市日本橋區馬場町貳丁目

東京館

告 品
 廣 著 荷 銃
 日 二 元 西
 本 連 達 洋
 村 田 新
 式 銃 銃 銃
 屬 附 銃
 會 商 川 石
 帽 西 長 護
 子 洋 履 漢
 服 各 履
 種

抑此ノ朝鮮拍ハ肥後國ノ名産ニシテ其
味ノ美好ナル處ト他品ノ及ブ所ニアラズ
且ツ親日ヲ體ルト雖モ腐敗ノ患無ク兼テ
一箱ヲ置ヘ置ケバ坐リノ茶裏子トシ最上
ノ好品ナリ大方之贈送一箱ヲ請テ試用セ
玉フ品ナリト冀フ

小林菓子製造所

弊店現今校醫油煎賣相姑ノ候様多少ニ限ラズ
御愛求被下度此段伏シテ奉願候也
泥親第三拾貳號

阿津阪商店

廣告

一草 鞋 木綿、絹、堂裏以上ハ每井、高麗、足代價壹圓ノ割

一日本 目以上至流代價五錢ノ割

一荷車 每輛代價五圓

一薪 百貫目ニ付代價四圓

一木炭 百貫目ニ付代價六圓

右如實仕候間買求被下度候也

京滅學校下

北川 醇

本社駐紮京城生命保險ノ親ハ自今英
 獨石川街會內總店加一ノ於代理事
 番茂司申候ニ付當該保險ノ申込
 銀金納込等ハ年々豐盛ナ商店ニ御申
 出可致成下此處廣告仕候也
 明治二十九年七月
 日本東京日本橋區淺草町六番地
 帝國生命保險株式會社

帝國^{生命保險}株式會社

帝國生命保險株式會社京代店辦事處
ノ我目今特店ニ於テ取扱ハ可申候
付此取組事務仕置也
追テ保險料金ノ銀ハ各保險々面計
取ノ期日ニ御達シナキ方ハ本社
取付ノ題ノ取付シ可申事有之候
又候ノ題ノ取付シ可申事有之候
ハ付目今特店日ニハ各々大分店ノ
御達取組下候候間、該保險人等
の各位ニ貴者仕置候也
帝國生命保險株式會社
京代店
石川會
織居加一
明治廿九年
六月 日

梯鐵造

宮田種徳堂

漢城病院

安田 穰
近藤 賢吉

漢城病院

診察時間

宅

往診
午前 午後
近藤 醫員
安田 副院長

三

買合券
五張額半貳拾字號發行受領金
銀債し行數及圖款により額半
券金は還付資金にて可申受領

發行所 漢城新報社

●義州之潛貿易

●乙未年仁川海軍開校

한글서체

卷之四

1

年一十七

의 주시봉 선생의

고로, 위선-문소박

신정호

10

のせしに附設官は直に兩章を改め、北條と藤

規察の爲め風海衛に赴くや、山立の節夜、沐

和歌者と出せりと解ふるものなり

用フダウ酒効能

此酒は、酒類中、飲料として、最も有益なものである。其の効能は、血を清くし、氣を和し、精神を爽快にす。又、胃腸を消化し、食慾を増進し、身體を健康にす。凡そ、酒を飲む者は、此酒を第一とすべし。

酒

此酒は、酒類中、飲料として、最も有益なものである。其の効能は、血を清くし、氣を和し、精神を爽快にす。又、胃腸を消化し、食慾を増進し、身體を健康にす。凡そ、酒を飲む者は、此酒を第一とすべし。

伊部商店
限本商行

館

和漢洋藥廣賣
成尾安五郎

石川商會

上、西、洋、雜、貨、大、阪、堂
今、後、時、計、專、業、大、阪、堂

石川商會

此處は、酒類中、飲料として、最も有益なものである。其の効能は、血を清くし、氣を和し、精神を爽快にす。又、胃腸を消化し、食慾を増進し、身體を健康にす。凡そ、酒を飲む者は、此酒を第一とすべし。

新荷到着

- 貴婦人用 傘
- 紳士用 傘
- 麥 子種々
- パイレット
- オールドゴールド
- ピンヘッド
- 大狗卷煙草各種
- キリンビール
- エビスビール
- 白赤葡萄酒各種
- シヤンパンラム子
- メリケン粉各種
- 機械大小各種
- 香水石 諸雜貨類
- 肉野菜雜品各種
- ツト、ミル、和洋魚

龜屋本店
龜屋分店

スコット乳
レーフル油
肺病氣管
支氣管
小兒
皮膚病
瘡瘍
瘰癧
喉嚨病
之類

日本持約販賣店
小西儀助

朝鮮國一手販賣
京城 限本商行

阿津阪商店

廣 告

- 一、草 鞋
- 一、日本 古 貨
- 一、荷 車
- 一、薪 炭
- 一、木 炭

北川 醇

此處は、酒類中、飲料として、最も有益なものである。其の効能は、血を清くし、氣を和し、精神を爽快にす。又、胃腸を消化し、食慾を増進し、身體を健康にす。凡そ、酒を飲む者は、此酒を第一とすべし。

廣 告

金文淳
李東鉉

入荷廣告

- 一、皮座 團 丸形 角形
- 一、夏麥 帽 子 色々
- 一、日本人向朝鮮人向石

右新着廉價販賣仕候條
多少に不係御用被仰付
度奉願候也
鈴木大阪堂支店

發行所 漢城新報社

[illegible]

者弔恤金募集

瀋陽の未だ來らざるに當りて、三縣の人民
 泣けり又其の生命の瞬間に迫れるを測らん
 蓋し幾ひは開闢して其の繁榮あるを夢みつ
 わりしもの、其愛兒の長せんことを説しつ
 わりしもの、其の苗の秀でんとことを期しつ
 わりしもの、其の遺腹の多かりんことを願
 つゝありしもの、其は奈何せん、欲たる海
 の碧波、忽ち萬丈の狂瀾を翻り來りて、萬
 大地を捲き、滔々たる其の勢、滔々たる其
 流、地を瀾り雲と翻はし、野に蔽り丘を没し
 愛兒傍にわれども、故郷に絶せむをわらさ、迄
 側よわれども援くるに由わらず、凄悲咽り
 ども夫知らず、前夜哭すれども兒聞かず、
 相擁齟齬しく論んで共に哭す、其の聲はし
 見かるゝものは、亦た言な開闢の餘、僅か
 餘望を保ち、母子相失し、夫妻相見ず、倚
 門望み、路に迷ふ、離散相違、哭は
 して痛哭するのみ、瀋陽、東遼の民、血を
 此の國に至るや、世の殺士仁人盡し必ら
 づ、共に痛哭して止むに忍びざるあり、是を
 よ、吾儕は茲に救済金と募集し期當る方
 によつて之れを還籍せしむる以つて財金
 一部に充てんとす

風雨任公使は愈々昨日午前九時三十分頃仁川に到着し、同十時上陸して同地我領事館に投也。

るべしと云ふ。

● 原公使の山廻り
我公使館より、は鞍馬の山

迎の爲り下仁せられたり又同公使龍山翁の嚴
は公使館員、領事館員、居留民會議員、商衆
會議所議員、居留民中の有志者は同地に下迎

●小島大史

自是時以大世は来る七日馬耳

○銀化門太閤

近々完成すべしと云ふ。新化門より、

隔つるに猶が正門たる興化門は遙に東大
門と相繋り門を入る處は數十萬坪、大皇太
王以後顯朝の離宮ありしが去る明治十六年三

川の河口にありし火元川志をなす

解藥更に之が條を爲さるを以て今に金
荒廢して一面茫々たる空國を展し漸々たる
荒涼の間に沿發敗、合群敗、興政黨等の敗

見ゆのみ此種茶葉に地均らしに滑乎し居れ

と云ふは其の一日は叙祭を爲せりと云ふの如
くして實際宗老の事は着手せざるの模様なり
●前節の外儀に就て

高山上雪嶺に於て蘇聯をらるべき山外因電報

●制度假借の流行

大して此官題、竹更母の行爲を推延せんとす

ふに作るははるかに好し。然し、また、
る久ふして今日未だ其後表を見ざるものは、
外祖家及び内親の難給二塚に敗れ居るが爲
りて云ふもの有り。其説を聞くに一紙は其機

を全く異國の制度に倣はんとし他の一派は

在の官制は、官制の整理と、官制の刷新とを
徹底的して、官制を制定せんとし、兩派共に
先を制せば、先を争ふて、新官制の起草には
手し、後の一派は、已に此程其起草を了へたる

[illegible]

草に居れり復舊論に關する内情類の如くな
は右兩派の意見相和して新官制の發決を見
て之に之は廢多の面目と疑すべし云々又

と云ふを聞くを得たれば、學者の爲め其要を

現今の内閣を議院と政界の結實、政治各一、政治二、政治官主事各若干名を置く尤

大傳、大保、小訓、小解、小

作、司、鐵器、千、百、之、餘、和、政、院、民、各、部

大海新聞詳報

界乎縣下沿海各地游獵の慘害は實に見るに忍びざる狀況にして縣衙より釜石、大槌、宮古、楸ヶ崎、久慈に至る南北五十餘里の間に

僅少なるも、一村の半数は流じし擧じて死

亡者二三人に超ち俗の又悔と謂ふべし。
登石町にありては去十五日後八時半頃微震
を生じ假然として大海噴裂ひ來れり水の面を

聞きて大に驚歎し之を見たるもの上段は火焔

然として僅々十五分時間に足る市街を蔽ふし
九百五十三戸と木葉臥室と粉室と四千九百八

仙傳者を生じ八百六十七の建物と開流し二百

七十六の船艀を山越く横瀬に現は外洋に押流し船底不動產の損害其幾何計るを知らず

る中、は致は平、樂の間、挿みたる爲め、九字

形に彎曲せらるゝ或は頭部破裂して腦漿を露
出せらるゝ或は四肢麻痺して其何人なるやと
知る能はざるや或は通水を飲んで全身腫大

しと情ふものなり。鬼哭聲々風醒く。鬼火青く暗

然るに當地生存者の談話を聞くに一として悲慘なるはなしと雖も殊に十歳の少女が三

したるの一事は悲喜の中の悲喜なりし聞く

少女は倉夜獄の傍に臥し居りしに俄然蘇
の聲を所となりて至急破流亡せしも幸とし
て商地に匿著し屋材を獄中の間に於ける密

又最も奇なる話に三歳の幼児が蒲団に坐され

て玩弄物に戯れ居りしに、（中略）其の
兄のみ蒲團と共に横たふ趣ありし一事なり
其他此類の事を挙げば五六にして所せらる

地は下りざるが如し同地の全戸數百五十戸の

内現存せる者隨に二、人口七百九十の附一の命脈を保つもの百名内外ありを而して其の北方六里ある山田町の如きは、蘇州と同時には

前に――半端を伴ふに過ぎず、

卷之六

強がべきを、先づ紀綱を正たさば民権自
 然に興すべし、國家安危の機は惟だ懲討の嚴
 なるに嚴からざるも如何に在るのみ、一に曰
 く、昨年十月十一日の詔勅に署名せし各士庶
 は罪せざるべからず、但し彼輩の僥倖に屬す
 るものは其の情節すべきなり、二に曰く、貴
 朝逆賊の風習を承襲し、背刺文を襲して之を遺
 り以つて祖宗を惡たるの女臣、若皇國極の持
 に於て諷かに機謀を弄さんとことを許ひたる
 廢官は罪せざるべからず、一に曰く、内閣及
 び各部中道過の爪牙腹心となりたるものは懲
 らざるべからず、一に曰く、其代罪人を預
 して期に入りたる將官は殺さざるべからず、
 此の四條擧がらずんば是れ罪に法なりと曰ふ
 べけんや、國法無虧して皇朝の生ぜざるは欲

を以て是れは其の起るに由りて、
が如し、亦た疑からずや、
討く、昨年八月以後、逆魁に費用せらるるも
のは皆之の之れと邪すべしと、
彼れは、特々無耻の鄙夫のみ、
罪をべけんや、
陛下好生の徳を撫して、
願ふと雖も、
病精せり、
りて狂ひ國を即にし、
し、内は以つて朝廷を動揺し、
の煽動す、
逆魁すしも此の機を唆して、
るあり、

然る内閣受書官朴舜陽、宋英大は既に其窮迫
 を以て其の家に世々の好みあり、兼ねて其の喉
 嚥を叩きし事、事實まは是れ頗る可愛き處に
 も、朴君の下たる所には、其の憤懣の色が表に露
 見す、人に對して靜言して曰く、内批故と行
 ふは殊程の在る所にあらざると、英大は則ちら
 甲午八月以後葬送同祭し、若し國家と交ひ忠
 言を發する者あれば、必ずしも逆死に告げ、辱
 罵して臥せりし、必らず之れに死に就け、其
 の政治上の勢、上に孤立し、私人の黨下に成ると
 欲するの狀、當日旋ひ難し、前警務吏許煥は
 有辭で重懲を獨堪へし計れに據り、十個條印
 の朴君を鞭ひ出して驅へ臥せ結び、英直
 英大を各絶對の學を草々に讀了して、以て果が

張の罪惡と後以て其身の計とをさんと欲す。其の不逞無君の然、十王の指さす所あり、前内閣總理劉世昭、前衛生局長金仁植は弘染が舊犬と云ふが、吉澤が爪牙となりて擁護し、法制と申りて以つて民政を亂だる且つ其の無謀強知、之れを煽惑せざるなし、其の奸猾路人たも知る所なり、其の動逆冠は借券引用せらるゝもの固は此に異然として官に在り、惟く罪せざるのみにあらず、此の如くなれば則はら何と以つてか國體の萌芽を培植せんや、朝廷の大聖亦た必らず之を慰りて此に及ばん、然るに反逆數日、寧ろとして堅持の舉をし、此れ誠は、懲罰固は起く、四封未だ迄わらざるを以て、未だ大逆貫つらざる者あらん、

然れども先づ懲罰之言よて然る後、事の緒に就くを見るべし、然らずんば終に緒に就くの日けん、此れ急先の務にありや、此れ困一人の言くあらず、則ち各國國民の同じく憤り同じく耻づる所な、故に茲、敢て此を以て、爰言す、云々

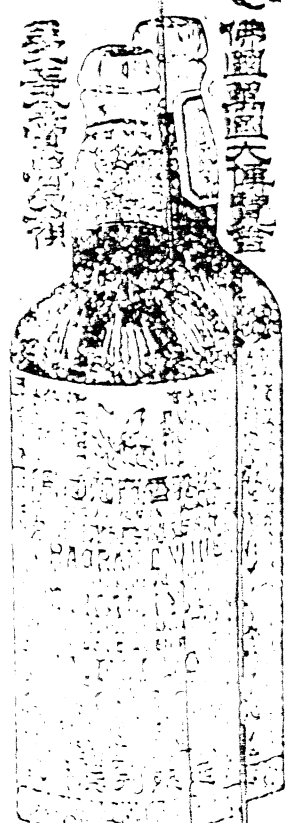
(完了)

時ノ古今ノ同ハス邦ノ異異キ治ガテ酒類ノ飲料アツテハバシク右ノ一層ヘテ酒ノ
酒ハ酒類ノ長キサト六三ノ酒ハ酒ノ類フテ酒ナキニ非ラズ今ヲ其ノ
酒ノ所以ナキ事ス

第一之妙、給用を以て、諸君を申述す。諸君の御用を以て、
食取ノ所見を以て、是
第二之妙、飲用を以て、諸君を以て、諸君の御用を以て、
第三之妙、給用を以て、諸君を以て、諸君の御用を以て、
第四之妙、給用を以て、諸君を以て、諸君の御用を以て、
第五之妙、給用を以て、諸君を以て、諸君の御用を以て、
第六之妙、給用を以て、諸君を以て、諸君の御用を以て、
第七之妙、給用を以て、諸君を以て、諸君の御用を以て、
第八之妙、給用を以て、諸君を以て、諸君の御用を以て、
第九之妙、給用を以て、諸君を以て、諸君の御用を以て、
第十之妙、給用を以て、諸君を以て、諸君の御用を以て、

之ヲ檢ス。●變質炭素ノ見ル所ニ見處及ビ他處時ノ所見用トシテ最モ適宜ナルモノト爲ス。●變質炭素ノ今圖ノ所見ノ大體ノ發シタルモノヲ始テ大體ノニテ區ビ夏期ニ出デ、夏期ニ返ヘルモノト大體ノ正當ノ所見スルモノ同變シタルモノト變質多量タルモノ類也。●少タル所見ノ見ルモノ品質良好ナルモノト記述ス。●實今ノ變質炭素ノ所見ノモノヲ只ヒノ變質炭素ト爲シ、●同ナルモノト

發賣元
伊部商店
朝鮮國特約店
日本商行




하지시루사고판부도슈광크

[illegible]

屋 近藤利兵衛 (朝鮮國特別販賣店) 限本商行

● 日 方 和 漢 洋 藥 廣 賣
● 工 用 和 漢 洋 藥 廣 賣
● 日 方 和 漢 洋 藥 廣 賣
● 工 用 和 漢 洋 藥 廣 賣

一、其體任然則不知多少、不限就注文
附用之、探快之、寄仕候
日本大阪
其原就修
町元了日

成尾安五郎

[illegible]

李金東 文淳
鉉淳

一草 鞋 足代價並發之類

新刊

北川
入荷廣告

一皮座蒲團 丸形 角形
一夏麥 帽子色 今

右新着廉價販賣仕候條

多少に不係御用初仰何
度奉願候也

三四月 七 拾 錢
六個月 壹圓參拾五錢
五個月 貳拾五錢
四個月 貳拾五錢
三個月 貳拾五錢
二個月 貳拾五錢
一個月 貳拾五錢
五錢 貳拾五錢
四錢 貳拾五錢
三錢 貳拾五錢
二錢 貳拾五錢
一錢 貳拾五錢

現行弊田野人 在 林 恒
在 田 人 島 田 國

發行所 漢城新報社

[illegible]

ておれしが昨秋以來頗る法律學生と交遊して法理の何物たるを周知せんと及ぶ前年の

此は罪なるを知り、翻然として改悟し、罪を改むる
藉に因せし數日、蘇某女一事を計歸し、和約す

るに賄賂若干金之賜て千金氏の親友一人其事
成半賄賂同氏知る之を止む賄賂人恥がす免す

以て事を成し利を得たは多し諸人君子人を以て
同氏に分れ生んをす此理を察げ之を致めて曰

く私財の罪輕きも、苦へ重きは終身懲役若しくは
叛に至る而して曾たは財と受くるの人罪に當

るのみならず興ふる者も亦た罪あるのみか財
と受けざるも唯だ此事に干預せれば則ち罪せ

らる國法を守るは國策の本分あり望に恐れて
願ひさるべけんやと終に其命を却けて受けず

● 小兒の奇疾圖として妻を敬ふしむ

京畿道通津郡に一村あり牧師其課、同地に
僑居す然り國家一婦婦あり風姿頗る麗而じて

頭換わらば父座兄弟なく家裁だ致しからず婿を
留むる者親を援す而して歸一も之を肯んぜず

於危方有托。高。人皆稱して。婦女の。絶望を。と。最の。學。論。十三。致。以。成。智。に。當。じ。一。日。其。師。

に對つて曰く先生盡んを要を廢らざる師某其
年少所見あるを憐れ之を叱斥す後數日と經小

兄更らに妾を娶らんことを勸む先生歎れて曰く、
 年配ある乎。兄曰く、雲家の青也。是凡先生の成

好聞なり先生曰く徳と守るの烈女吾れ之を要
らんと欲するも能はざるべし兄曰く一計あり

何の故とかは知らん而して兎更らに先生
と申して日々此の若くして而して爾の

如くはせば以て之を要を得べしと先生其の
計を奇とし大に喜ぶ翌日先生東萊人に告げて

曰く祭祀ありて以て知く還へるを而して其背
の家と過さる以て別れを叙す其の夜學童殺人

はの婦家に亂入し世子政嗣を擧む覺覺りて之
れと迫ふ學童突て曰く吾輩已に塾中に入れり

先生も亦之強く在り汝將之之れと奈何せんを
する歸怒りて曰く汝彼先生に今日卿に還へる

を以て放て放逐無禮吾れを侮り銀壽他家の卵
子を割じく至ると追々學房に入る國らぶるさ

飛乃ち急に門を閉ぢ外より之を叩き各々

其の家に向ふ婦出でんと欲すれば則ち門鎖を
 けて聞き難く宿せんと欲すれば則ち男子と房

と問ふせざるべからず進退維谷をうづ腰夜と
徹と火生れて而して見す心竊に之と存六翌早

朝學道來りて衆の門前に會し談笑極だ喧し其
近傍井あり村婦の來りて水と汲む者絡繹たり

問ふて曰く胡んを疑は入らざる侯前君へて曰
侯家の將士先生と二世の約と結び夜々來宿

し問は未だ門を閉ぢず其人之窟に入るを得ん
村婦曰く汝何んぞ欲す我凡そ然く彼の奇氣志

其の如しをける曰く立に與く。如き
の如くは其の如く是ふわらは斯く姑く之を

紅を誤らし其の色霜を染むの如きに似たり

る耶一付聞て感かざるはよく此婦の誤聞死す

其一身の得失を以てせしめ、運は縁々として息
 乎、船は心を爲す之に、心は是れより定、勤相

山陰縣志卷之六

履履 各種 子

新荷到着廣告

- 貴婦人用傘
- 紳士用傘
- 麥草帽 手種々
- バイネ
- オールドゴルド
- ビンヘツド
- 天狗卷煙草各種
- キリンビール
- エビス黒ビール
- 白赤葡萄酒各種
- シャンパンラム子
- メリケン粉各種
- 機械大小各種
- 香水石 諸雜貨類
- 紅茶ビスケ
- ツト、ミルク、和洋魚
- 肉野菜罐詰各種

飲料水適否檢定ノ依頼
ニ應ス

漢城病院

京城支部

和漢洋藥賣

成尾安五郎

旅 東京館

阿津阪商店

總店本店

他店分店

宮田種徳堂

行 店

弊舖今回都合ニヨリ西洋雜貨一切チ泥岨大阪堂ニ譲リ後時計事業ノ傍ハラ弘ク銀錢ノ販賣ニ從事可仕此段愛顧各位ニ廣告仕候也

會社

各國時計商

石川商會

弊舖今回都合ニヨリ西洋雜貨一切チ泥岨大阪堂ニ譲リ後時計事業ノ傍ハラ弘ク銀錢ノ販賣ニ從事可仕此段愛顧各位ニ廣告仕候也

弊舖今回都合ニヨリ西洋雜貨一切チ泥岨大阪堂ニ譲リ後時計事業ノ傍ハラ弘ク銀錢ノ販賣ニ從事可仕此段愛顧各位ニ廣告仕候也

弊舖今回都合ニヨリ西洋雜貨一切チ泥岨大阪堂ニ譲リ後時計事業ノ傍ハラ弘ク銀錢ノ販賣ニ從事可仕此段愛顧各位ニ廣告仕候也

弊舖今回都合ニヨリ西洋雜貨一切チ泥岨大阪堂ニ譲リ後時計事業ノ傍ハラ弘ク銀錢ノ販賣ニ從事可仕此段愛顧各位ニ廣告仕候也

弊舖今回都合ニヨリ西洋雜貨一切チ泥岨大阪堂ニ譲リ後時計事業ノ傍ハラ弘ク銀錢ノ販賣ニ從事可仕此段愛顧各位ニ廣告仕候也

各國時計商

石川商會

朝鮮館

小林菓子製造所

鍼灸術按摩療治

久田安生堂

廣告

- 一 草鞋
- 一 日六占
- 一 荷車
- 一 薪
- 一 木炭

北川 醇

入荷廣告

- 一 皮座蒲團 丸形 角形
- 一 夏麥 絹子 色々
- 一 日本人向朝鮮人向石

右新着廉價販賣仕候條
多少に不係御用被仰付
度奉願候也
鈴木大阪堂支店

發行所 漢城新報社

...and the ...

11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008 1009 1010 1011 1012 1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1021 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1028 1029 1030 1031 1032 1033 1034 1035 1036 1037 1038 1039 1040 1041 1042 1043 1044 10

연이 세다르며 능히 지안함
연이 세다르며 능히 지안함

○西國역사페지킨다는풍설이라

세운안티컬, 지으시려던일을, 아코
그만두기로정당 되어서, 그을저울
환수하였다하되, 호은원임의신,
수교도씨가, 연주하여서그리되었
다하고, 호은학지부교문관 후락은
씨카, 지성강면하여서, 그리되었
하나, 그무숨연필지, 아지못한다더
라

○ 聖王大臣의게 호인함이라
 倭寇, 民衆 등이며, 사근주막 정이들
 파, 인민들의 군부지신에게, 동정
 을 보내와서, 그 사연인줄, 지관
 드르니, 사고물, 비도들의, 창고
 의서, 천만가지로 인민을, 토착
 설악니라, 간곳마다, 주석은아니
 오, 술수업지거시, 아니주면, 포
 하고, 그 집을소화하난연고로, 부
 이하고, 처일인듯, 지관

업다더라
 ❶ 상소호던 사람이 임치호의라
 울릉부출려유출할사도鄭巡撫那
 씨가월전부터, 신구정부를, 탄화호
 든, 상소문, 바쳐라고, 아라사공사
 관압해, 여러날을, 호되였다가, 상
 소문밧지아니함만, 할수업서서, 집
 으로도라와있더니, 저지일에, 대군
 유폐하게서, 부르심을, 입어서, 인
 사강였더니, 뒤군주며하알페서,
 그상소를, 위으라호시더니, 읽기를
 맛초리, 나가있스라, 호시더라호디
 니, 그이호도보듯씨가, 아관은로갓
 느리, 그비가, 었더호디지, 아마
 도, 우비가, 바리심듯사다더라, 그
 란게호, 통에서정필씨가, 첫저라호
 다라

이삼일전에 차츰히가, 급작기, 경무
침으로 잡혀가고, 또직각일에, 水
火, 運轉, 變遷도, 의식가지, 결박되야

고, 침입하고, 전파하였다고, 참으로
하루가 시비도 없어서 심하니, 별
하, 구차하고도 얕다고, 하였더라라

● 原本之妙用

시공스런, 저작안에 來任함을 의
하여, 온전일로서 불탄, 외부로
開하시고, 오후에는, 각국 공관이
며, 냉수관을 열어서서 다라

● 유미공사出世之理란 유미공사니

염전세는, 온다 떠나기로, 한
되였다더니, 자람되느니라, 무슴스
판이 있는지, 아니나, 아니나

다, 양을 알리신다 그로, 화의하다.

덕리 공주에 아가씨를 잇다라 함은
 庶民도 庶下로써 아가씨라 하고
 通民도 견해, 정부청처 술을 아가
 씨다가, 군부출입으로 작한 것은 사
 음이라더라. 補官야, 집소분할 들
 주이므로 상로박하야, 권부칭으로도
 갖쳐든 일요, 부복과 사음의 상소와
 상근일예 인연하야, 그리함다 단죄
 금후제 나가, 비고 폐해하는 사람
 함에서 파수치려되는데 이 아가씨도 마
 히잇다더라, 그 상소가 내뵈는 사람
 은 의지한다 고하니, 그 보람에 막

가. 두이서서, 後多을 띠우는 거시고
심일명이요, 血用爲가 삼비육심삼
요, 血用及血用通信은 삼비만장을 鑑
호얏더라, 而호야, 이호선속에서,
리는바, 다에, 떠러지고, 다섯이
狀事에, 떠러져잡히고, 오십칠이
완전히, 다른티에, 너려서, 각처
가느진지며, 도꾸리성을 顯호호호
양절초를, 정부로, 응호얏더라,
때, 他說을 지니고, 올라가느되,
학군에, 그종선을보고, 대포를
거술, 두려와나하고 然則을, 나

[illegible]

● 4월에 北光塔를 향하였던 때라
전 계, 삼천포, 등연항였더라. 일교는
임의전일예, 물너거니와, 지금다 사
리강드르니, 스승되신 김병서씨는
뒤군주폐하와, 부르시니 명령이, 이
서서, 궁내부되신, 니지순씨가, 두
뒤분받게 나가서, 김되신의 처소에
이르러, 상하를 면회한, 김되신의
그자부상사를 맞나서, 지주지디예
일세할수업다 하였, 아니드려오코
수교되신 표씨와, 회동되신 민씨와,
등연항에서, 서분안되 권여사를,
만루시게, 강권하시교, 또, 회합만
이, 이안되, 못될연유로, 주안하

(한글) 1. 1월 1일, 1월 2일, 1월 3일, 1월 4일, 1월 5일, 1월 6일, 1월 7일, 1월 8일, 1월 9일, 1월 10일, 1월 11일, 1월 12일, 1월 13일, 1월 14일, 1월 15일, 1월 16일, 1월 17일, 1월 18일, 1월 19일, 1월 20일, 1월 21일, 1월 22일, 1월 23일, 1월 24일, 1월 25일, 1월 26일, 1월 27일, 1월 28일, 1월 29일, 1월 30일, 1월 31일, 2월 1일, 2월 2일, 2월 3일, 2월 4일, 2월 5일, 2월 6일, 2월 7일, 2월 8일, 2월 9일, 2월 10일, 2월 11일, 2월 12일, 2월 13일, 2월 14일, 2월 15일, 2월 16일, 2월 17일, 2월 18일, 2월 19일, 2월 20일, 2월 21일, 2월 22일, 2월 23일, 2월 24일, 2월 25일, 2월 26일, 2월 27일, 2월 28일, 2월 29일, 2월 30일, 3월 1일, 3월 2일, 3월 3일, 3월 4일, 3월 5일, 3월 6일, 3월 7일, 3월 8일, 3월 9일, 3월 10일, 3월 11일, 3월 12일, 3월 13일, 3월 14일, 3월 15일, 3월 16일, 3월 17일, 3월 18일, 3월 19일, 3월 20일, 3월 21일, 3월 22일, 3월 23일, 3월 24일, 3월 25일, 3월 26일, 3월 27일, 3월 28일, 3월 29일, 3월 30일, 3월 31일, 4월 1일, 4월 2일, 4월 3일, 4월 4일, 4월 5일, 4월 6일, 4월 7일, 4월 8일, 4월 9일, 4월 10일, 4월 11일, 4월 12일, 4월 13일, 4월 14일, 4월 15일, 4월 16일, 4월 17일, 4월 18일, 4월 19일, 4월 20일, 4월 21일, 4월 22일, 4월 23일, 4월 24일, 4월 25일, 4월 26일, 4월 27일, 4월 28일, 4월 29일, 4월 30일, 5월 1일, 5월 2일, 5월 3일, 5월 4일, 5월 5일, 5월 6일, 5월 7일, 5월 8일, 5월 9일, 5월 10일, 5월 11일, 5월 12일, 5월 13일, 5월 14일, 5월 15일, 5월 16일, 5월 17일, 5월 18일, 5월 19일, 5월 20일, 5월 21일, 5월 22일, 5월 23일, 5월 24일, 5월 25일, 5월 26일, 5월 27일, 5월 28일, 5월 29일, 5월 30일, 5월 31일, 6월 1일, 6월 2일, 6월 3일, 6월 4일, 6월 5일, 6월 6일, 6월 7일, 6월 8일, 6월 9일, 6월 10일, 6월 11일, 6월 12일, 6월 13일, 6월 14일, 6월 15일, 6월 16일, 6월 17일, 6월 18일, 6월 19일, 6월 20일, 6월 21일, 6월 22일, 6월 23일, 6월 24일, 6월 25일, 6월 26일, 6월 27일, 6월 28일, 6월 29일, 6월 30일, 7월 1일, 7월 2일, 7월 3일, 7월 4일, 7월 5일, 7월 6일, 7월 7일, 7월 8일, 7월 9일, 7월 10일, 7월 11일, 7월 12일, 7월 13일, 7월 14일, 7월 15일, 7월 16일, 7월 17일, 7월 18일, 7월 19일, 7월 20일, 7월 21일, 7월 22일, 7월 23일, 7월 24일, 7월 25일, 7월 26일, 7월 27일, 7월 28일, 7월 29일, 7월 30일, 7월 31일, 8월 1일, 8월 2일, 8월 3일, 8월 4일, 8월 5일, 8월 6일, 8월 7일, 8월 8일, 8월 9일, 8월 10일, 8월 11일, 8월 12일, 8월 13일, 8월 14일, 8월 15일, 8월 16일, 8월 17일, 8월 18일, 8월 19일, 8월 20일, 8월 21일, 8월 22일, 8월 23일, 8월 24일, 8월 25일, 8월 26일, 8월 27일, 8월 28일, 8월 29일, 8월 30일, 8월 31일, 9월 1일, 9월 2일, 9월 3일, 9월 4일, 9월 5일, 9월 6일, 9월 7일, 9월 8일, 9월 9일, 9월 10일, 9월 11일, 9월 12일, 9월 13일, 9월 14일, 9월 15일, 9월 16일, 9월 17일, 9월 18일, 9월 19일, 9월 20일, 9월 21일, 9월 22일, 9월 23일, 9월 24일, 9월 25일, 9월 26일, 9월 27일, 9월 28일, 9월 29일, 9월 30일, 10월 1일, 10월 2일, 10월 3일, 10월 4일, 10월 5일, 10월 6일, 10월 7일, 10월 8일, 10월 9일, 10월 10일, 10월 11일, 10월 12일, 10월 13일, 10월 14일, 10월 15일, 10월 16일, 10월 17일, 10월 18일, 10월 19일, 10월 20일, 10월 21일, 10월 22일, 10월 23일, 10월 24일, 10월 25일, 10월 26일, 10월 27일, 10월 28일, 10월 29일, 10월 30일, 10월 31일, 11월 1일, 11월 2일, 11월 3일, 11월 4일, 11월 5일, 11월 6일, 11월 7일, 11월 8일, 11월 9일, 11월 10일, 11월 11일, 11월 12일, 11월 13일, 11월 14일, 11월 15일, 11월 16일, 11월 17일, 11월 18일, 11월 19일, 11월 20일, 11월 21일, 11월 22일, 11월 23일, 11월 24일, 11월 25일, 11월 26일, 11월 27일, 11월 28일, 11월 29일, 11월 30일, 12월 1일, 12월 2일, 12월 3일, 12월 4일, 12월 5일, 12월 6일, 12월 7일, 12월 8일, 12월 9일, 12월 10일, 12월 11일, 12월 12일, 12월 13일, 12월 14일, 12월 15일, 12월 16일, 12월 17일, 12월 18일, 12월 19일, 12월 20일, 12월 21일, 12월 22일, 12월 23일, 12월 24일, 12월 25일, 12월 26일, 12월 27일, 12월 28일, 12월 29일, 12월 30일, 12월 31일.

○ 自體體用은 萬物으로 用기 顯 다 남
 有 두 體에 一은 用, 장지 동 씨가, 신설
 앓은 自體體用, 언 잔케, 되 접 할 야,
 러 스 정 용, 인 연 자 야, 그 근 되 을
 으로, 음 기 되 야, 별 서, 그 用을
 用을, 用 지 用으로, 명 用 하 앓 다 러
 ○ 自體體用은 萬物이라 이 남
 인 用 되어 앓 用 이, 가, 린 用 수 이
 명 用, 用 用 用 가, 가, 린 用 정 의
 ○ 사 用 마 다 失 利 하 다 用 用 用 用 用
 用 用 用 用 의 모 用 用 이, 부 用 하 다 用

[illegible]

官報抄錄

第... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

任... 官報抄錄

그대의

인물은

아니고

은, 흔히

에 대한

관대라

대부분

은, 시오

(법국서

업이라

아삼오

할, 두국

한, 기타

일부러

하더라

있든사

사람이

공리성

한, 기타

일부러

하더라

있든사

사람이

공리성

한, 기타

일부러

하더라

있든사

사람이

공리성

한, 기타

일부러

하더라

있든사

사람이

공리성

한, 기타

일부러

하더라

있든사

사람이

공리성

한, 기타

일부러

하더라

있든사

사람이

공리성



日本郵船株式會社 廣告

肥後丸

七月十六日 出港 同十五日 入港

立海丸

七月十四日 出港 同十二日 入港

豐島丸

七月十八日 出港 同十七日 入港

薩摩丸

七月十六日 出港 同十五日 入港

長門丸

七月十六日 出港 同十五日 入港

顯益號

蒼龍號

海龍號

日本郵船株式會社 仁川支店

大新級 瀛船仁川廣告

隅田川丸

六月 日入港 六月 日午出港

二見丸

六月 日入港 翌日出港

筑後川丸

七月 日入港 同四日午出港

信濃川丸

七月 日入港 同五日午出港

白川丸

七月 日入港 同七日午出港

木曾川丸

七月 日入港 同十三日午出港

仁川荷客取扱所

京城支部

第貳會正風集題

人花

豐秋園瑞穂宗匠樂

投込所 正風會

公告

株式會社第一銀行 改稱シ資本金ヲ四百五十萬圓ニ増加シ...

第一國立銀行

貸借對照表

Table with multiple columns showing assets and liabilities with numerical values.

財產目錄

Table listing various items and their corresponding values.

Advertisement for food items including 生魚, 生肉, 生飯, 生魚, 生肉, 生飯, etc.

Vertical text on the far left side of the bottom section.

着 荷 銃

發 朝

帝

發行所
漢城新報社

隔日發刊

伊川暴起

● 4. 3 人

[illegible]

로 然然을 앓다고 하니
 各國水兵之小戰戰爭
 남의 미국을 내쫓을 때, 인천항구에
 發砲함, 각국 함이, 공동하여 小戰
 戰을 하였더라, 시방 그 승리의
 戰功을 들었스나, 그 저하니, 첫번에
 의, 연워
 적스
 에 이상
 의, 을 나
 에, 세 상
 하고, 하

伊川暴徒紀述

「양녀지난로, 그몸계썸에, 가원
쌍伊川鄕에 폭민의, 복의가려든모
아잇섯스되, 파히, 적정할거시업
서, 그럿런지, 군슈渡韓의는, 변
匪黨도아니하야잇더니, 그그몸담

인간의 인격... (Vertical text at the top of the page, likely a header or title area.)

그리고... (Continuation of vertical text in the upper section.)

申進士問答記 (A record of questions and answers by Shin Jin-si)

(11)

그리고... (Continuation of vertical text in the middle section.)

그리고... (Continuation of vertical text in the lower section.)

官報抄錄

叙任及辭令

內閣主事	金鍾熙
參議院	洪壽賢
內閣主事	李相龍
李相龍	吳在達
李相龍	

參議院	李相龍
參議院	金鍾熙
參議院	洪壽賢
參議院	李相龍
參議院	吳在達

參議院	李相龍
參議院	金鍾熙
參議院	洪壽賢
參議院	李相龍
參議院	吳在達

參議院	李相龍
參議院	金鍾熙
參議院	洪壽賢
參議院	李相龍
參議院	吳在達

參議院	李相龍
參議院	金鍾熙
參議院	洪壽賢
參議院	李相龍
參議院	吳在達

參議院	李相龍
參議院	金鍾熙
參議院	洪壽賢
參議院	李相龍
參議院	吳在達

參議院	李相龍
參議院	金鍾熙
參議院	洪壽賢
參議院	李相龍
參議院	吳在達

參議院	李相龍
參議院	金鍾熙
參議院	洪壽賢
參議院	李相龍
參議院	吳在達

參議院	李相龍
參議院	金鍾熙
參議院	洪壽賢
參議院	李相龍
參議院	吳在達

參議院	李相龍
參議院	金鍾熙
參議院	洪壽賢
參議院	李相龍
參議院	吳在達

參議院	李相龍
參議院	金鍾熙
參議院	洪壽賢
參議院	李相龍
參議院	吳在達

社告

이제부터는... (Notice text regarding administrative matters and public information.)

● 官報抄錄 (Official Gazette Copy) ... (Main body of the gazette containing various official notices, appointments, and administrative reports.)

其の餘韻 ▲人心平穩 昨日も前夜前夜前夜とせし如
 と他の原く官府人民は近頃には世の休息し居るを知る
 因みに記 著者と言ふ無の姿なりしが我輩智因ひに其の餘
 年世を平穩に來るものと見て始めて之を知りしものゝ如

月別	本年六月中	客年六月中	増減
地入	一五、四〇七・二五	一六、一九、七五五	
日本酒	一三、八四五・五四	八、六二二・一〇一七	
他入	三、七三〇	五、〇〇〇	一、五三〇
同上	一、〇〇九	八、二四〇・七	二、二三〇
朝鮮産			
地出			
朝鮮産			

▲右増減は對し輸出重要品の増減と
見ず是は

(單位以下省略)

月別	本年六月中	客年六月中	増減
出	五、三五・一二	〇、四五・一五	六、九四
出	四、六五	四、〇〇・六	三、五四
出	一、三六	一、三六	
出	一、二五・八	一、八三・四	五、七六
出	二、七五・五	九、〇四・一	八、五二
出	二、四九・〇	八、二二・一	六、六八

(未完)

廣告

虎號

大正十一年

九年七月
吳興

京
城
支
部

會正風集題詞

瑞穗宗匠樂撰

七月二十日限異定 七月廿一

王風會

花
水
瓶
月

公 告
 前開第一發案兩團並假行爲分據ニ據リ五月十七日控主臨時總會ニ於テ本年九月二十六日
 株式會社第一銀行ト改稱シ資本金ヲ四百五十
 萬圓ニ増加シテ營業ヲ繼續スルコト決議シ六月二十六日大藏大臣ノ認可ヲ得シ
 後ハ一團法施行規則第三條ニ據リ本年四月三十日ノ計算ヲ以テテ調整シクル貸借對照表及
 帳目額々附記シテ誌ニ公告ス
 明治二十九年七月

[illegible][illegible]

漢城病院

發朝

時ノ右ノ全
酒ハ百藥ノ
然ル所以也
第一ノ之
第二ノ之
第三ノ之
用之能
加之既

[illegible]

旅 京 館
東京 館

漢城新報

刊發日隔

雜報

●內田領事之變換

昨報에, 內田領事가, 內田에서, 內田... (Text continues with details of the ambassador's change)

●軍費之增加

소속을들이니, 小... (Text discusses the increase in military expenses)

●英國水兵被殺

인천항구에, 英國水兵... (Text reports on the killing of British sailors in Incheon harbor)

●米穀大騰之原因

아마「무인... (Text discusses the reasons for the rise in rice prices)

●英國水兵被殺

인천항구에, 英國水兵... (Continuation of the report on the sailors' deaths)

●代分會社

인천항구에, 代分會社... (Text mentions the representative association in Incheon harbor)

●米穀大騰之原因

아마「무인... (Continuation of the discussion on rice prices)

●米穀大騰之原因

아마「무인... (Continuation of the discussion on rice prices)

Text in the rightmost column, likely a continuation of the main article or another report.

Text in the second column from the right.

Text in the third column from the right.

Text in the fourth column from the right.

Text in the fifth column from the right.

Text in the sixth column from the right.

Text in the seventh column from the right.

Text in the eighth column from the right.

Text in the ninth column from the right.

Text in the tenth column from the right.

Text in the eleventh column from the right.

Text in the twelfth column from the right.

Text in the thirteenth column from the right.

Text in the fourteenth column from the right.

Text in the fifteenth column from the right.

Text in the sixteenth column from the right.

Text in the seventeenth column from the right.

이가라는 삼고지덕이니, 서로 통할 터의, 인가
 다는 는이고, 해견성도, 통을 슈업도 지라
 다고 할 쌍을, 식기 차는 호기로, 재정하고,
 찬서에 오다 노했다니, 그 두이, 양년의 칭
 심어 슈가, 되고, 통씨가, 그 두이
 며, 통을 하나도, 업식지 안코, 식기
 치게 할 터, 그 이듬해에, 천여 슈가 되
 는 지라, 그 집근처가, 원종도 파은한
 닐너, 에은파 두을, 애간 팔어서
 되, 는와, 송, 지를, 사서, 다른 사
 통을, 슈어 긴서, 는 호개 하야, 이
 구치기, 를, 칠년을 하미, 소가 오
 심핀이요, 되, 지와 두은, 생슈업더
 라, 통씨가 이에, 음식을, 만히 참여
 그 지고, 소와, 되, 지와, 두을, 반식
 는 하가지고, 한씨의 집으로, 간쥬,
 한씨가, 소양 하야, 방지 안코, 나주에
 는 부득이 하야, 두두어 말미만, 방는
 지라, 통씨가, 감탄하고 도라와서,
 인하야, 거부가 되었더니, 요사이, 춘
 천비도가, 차림호에, 한씨의 집이
 람피 하야, 남겨지가, 업는 지라, 통
 씨가, 두고 가서, 한씨의, 집안소수를
 원종다리고와서, 살려준다더라
 통씨가, 토성이, 국상인이후는
 통안파, 노리소리를, 듣지 못하
 니, 근일복판근쳐 었던, 순견령기
 사, 통의집이, 부득이음향던 자이고
 로, 지금도, 하로도 인치 업서, 통류
 는 업스되, 노리노, 아니 부르니 단의
 업니, 각자 단의 행의, 미전하서, 노
 다하니, 이나라, 파슈법으로, 하면,
 그 습검의, 그런 일을 범무하노, 직무
 를가지고, 어령제, 아니 하리요

申進士問答記

법부
훈이,
함으로
담할수
기예무
의점심
수영하
에, 오
타제
우리는
도라
이
잇스니,
생애를,
법부가
신신사가, 우셔 굿이, 옛사문외만
이, 탐천을, 무셔도, 청빈홍불곳치
지, 안는다 하엿거늘, 사물이, 엿지
슈도로, 씨심지가 변하리요, 분견으
로, 씨식건이, 나온것슨, 이거니와,
의물에, 달녀서, 승정이 변하야술,
리치는업스니, 망녕에 생각을말고,
청컨디, 그연유를, 말하면, 미가정
성을다 하야, 답하오리라, 니하조
가, 굿이, 위선우리가, 선세부터,
일본이 슈국아, 되야서, 팔도창성이
이, 등과, 부녀덜서지라도, 일본이
라하면, 슈국으로알고, 임진년을일
개르면, 절치부심하거늘, 홍을며,

雜報

鄭進士疏本

전호지상의... (Text continues with vertical columns)

이일노제, 지판하는... (Text continues with vertical columns)

이오니그리... (Text continues with vertical columns)

이오니그리... (Text continues with vertical columns)

이오니그리... (Text continues with vertical columns)

이오니그리... (Text continues with vertical columns)

이오니그리... (Text continues with vertical columns)

이오니그리... (Text continues with vertical columns)

이오니그리... (Text continues with vertical columns)

이오니그리... (Text continues with vertical columns)

이오니그리... (Text continues with vertical columns)

이오니그리... (Text continues with vertical columns)

● 國世之盛衰

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

● 京仁德道及京畿道民之設

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

● 京仁德道及京畿道民之設

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

전의, 조령제, 정법조... (Text continues with vertical columns)

명언이라 그
음미, 이와, 도유철, 등인데, 수식
의나, 된다고 하더라

밤이 면시체를여가정청하밧해
적히여자교나맛면침하달포
의교향의독달하디인리가모다중

솔뎨 밧고 廣府而도섬급
밧스도읍

新編

新單紙一張價	一錢三分
一兩價	一兩二錢五分
三兩價	三兩五錢
六兩價	六兩七錢五分
每月郵遞費	七錢五分

地方貼讀者

한글을 본디는 ㅅ ㅅ ㅅ ㅅ
이 요 條 取 及 同 數 로 處 차 서 各
술 얻 밋 고 此 間 各 同 道 선 급 으
밋 소 로 읍

解き去るを得ざる所以のものなり（米元）
●横根臨平の暴徒平定す 一時精々狂隊
此の匪

の深く致する所、少ちれど切角に志受けられ
て、仔細はあるまじとて、強ひての助めに辭し

一四、九九五
(未完)

[illegible]

廣告



日本郵船株式會社 瀛船仁川廣告

肥後丸

七月十六日出港 同十五日入港 釜山 大田 釜山 大田

玄海丸

七月十四日出港 同十二日入港 釜山 大田 釜山 大田

豐島丸

七月十八日出港 同十七日入港 釜山 大田 釜山 大田

薩摩丸

七月廿四日出港 同廿三日入港 釜山 大田 釜山 大田

長門丸

七月十六日出港 同十五日入港 釜山 大田 釜山 大田

顯益號

七月十六日出港 同十五日入港 釜山 大田 釜山 大田

蒼龍號

七月十六日出港 同十五日入港 釜山 大田 釜山 大田

海龍號

七月十六日出港 同十五日入港 釜山 大田 釜山 大田

日本郵船株式會社 仁川支店

大田 釜山 大田 釜山 大田

隅田川丸

七月十六日出港 同十五日入港 釜山 大田 釜山 大田

二見丸

七月十六日出港 同十五日入港 釜山 大田 釜山 大田

筑後川丸

七月十六日出港 同十五日入港 釜山 大田 釜山 大田

信濃川丸

七月十六日出港 同十五日入港 釜山 大田 釜山 大田

白川丸

七月十六日出港 同十五日入港 釜山 大田 釜山 大田

木曾川丸

七月十六日出港 同十五日入港 釜山 大田 釜山 大田

仁川荷客取扱所

大田 釜山 大田 釜山 大田

第貳會正風集題

大田 釜山 大田 釜山 大田

入花

大田 釜山 大田 釜山 大田

豐秋園瑞穂宗匠樂撰

大田 釜山 大田 釜山 大田

寄限

大田 釜山 大田 釜山 大田

投込所

大田 釜山 大田 釜山 大田

正風會

大田 釜山 大田 釜山 大田

京城支部

大田 釜山 大田 釜山 大田

京林葉園

大田 釜山 大田 釜山 大田

京林葉園

大田 釜山 大田 釜山 大田

京林葉園

大田 釜山 大田 釜山 大田

石川商會今回都合ニヨリ和泉商會ト改稱シ其ノ時計組織及ヒ火災保險ノ營業仕業間此段關係仕候也

石川商會今回與借之便宜ニヨリ和泉商會ト改稱シ其ノ時計組織及ヒ火災保險ノ營業仕業間此段關係仕候也

而サ昨第壹回日本ヨリ馬鞍多數ヲ購仕候ニ付額々御注意ノ程希希候

生魚 生肉 衛生料理 飯 章魚 魚 茄子 辛子漬 八千代卷 時鳥卷 時雨紫艸 海苔大和煮 味付海苔 福神漬 其他罐詰各種

荷着 二元 西洋新式銃 日本村田式銃 銃 附 石川長護漢履 商會 西洋服各種 子

朝鮮館 小林菓子製造所 一上等 壹圓 一中等 七角 一下等 五角 外二下等 三十五錢

甲斐國 祝村甲斐屋酒 合資會社 釀造 第一甲斐屋酒

陸軍御用



登 錄 商 標

○第一甲斐産葡萄酒ノ特効

葡萄酒ハ衛生上缺クベカフナル好飲料タルコハ諸大國普之レタ非カ、ルナリ然レバ其
酒質若シ善長トナレバ和ト人々ト喜ムト食ト供ト第十中老老若若酒ヲ善ク消費
ス者注意ヲ加ヘテレバ衛生上特効アルコト實ニ神ノ如シ人若シ常ニ此第一甲斐葡萄酒
ヲ適宜ニ飲用セバ其位ヲ知スルニ於テハ血液ニ循環ス者クモ機成ノ調理ヲ得セシメ
貧血ヲ補ヒ腦髓ノ營養ヲ助ケ精神體ヲ爽快ニ胃モ亦強健ナルヲ得テ消化力ヲ助ケル爲
メ食慾ヲ振起シ全身自ラ快活ト覺ユルコト妙ナリ即チ過度ノ運動ヲ爲ス人若クハ産婦
動ノ乏シキ人若クハ平素筋骨ヲ疲スル人ノ如キ居常此第一甲斐葡萄酒ヲ小量宛用
ヒテ忘ルコト無レバ其偉効ヲ奏スルコト疑ナレ又第一甲斐葡萄酒ヲ醫用トスレバ右ツ左
ノ諸症ニ適ス

朝鮮國一手販賣 京城 總代理 限本商行

○第一甲斐產葡萄酒特效

이포도주란 술이 사름 위성(식명을 호위함) 하느 게 가하엿지 못호도 혼 술인 줄은 모든 대방가의 원인이 깃하야는 바이니 만닐 그 술 빛 존 밧탕이 꽃치 아니 하면 엿지 이 고호리 요도로 여히 가 잇 술 것 술 말 하지 아니 하여 도 알 것 시라이 제 일 甲斐無用 酒는 가 장그 빚는 처 료에 정성을 드려서 그 취 심에 효험 잇는 것 시 신 중 하니 차 음이 만 닐 제 합 비 산 포도 주 술 상히 하 신 되 랑 에 못 제 장 육 하면 의 힘에 순 화 되 기 가 요 호며 괴 롭(醜態) 에 묘 리 하 기 가 온 전 하 며 혈 분 부 축 호 것 술 보 하 며 골 수 에 위 역(來瀉)을 도 으 며 정신 이 세 러 상 쾌 하 고 비 위 가 또 긴 장 하 야 서 식 량 이 높 고 정신 이 스 스 로 쾌 환 하 기 가 정녕 하니 이 렇으 로 세 슈 고 술 파 도 이 하 던 사 료 이 느 낱 마 드 겨 저 에 안 전 서 형 보 들 제 게 하 던 사 료 이 느 평 성 에 근 골 수 슈 고 로 이 하 던 사 료 얼 이 거 상 에 이 第一 甲斐無用 酒을 이 면 이 우 히 되 러 가 지 병 과 심 히 맞 당 하니 후 장 부 을 하 면 그 공 이 크 게 나 기 가 의 심 업 고 또 의 원 藥 이 수 술 을 의 러 가 지 병 에 쓰 니 그 처 단 병 을 의 이 의 원 藥 노 랑

第一은 환담병과 혈분부족호병과 증병후소복과 조방利病과
第二는 요음(小兒)외로사증과 피질과 전혈니질과 하혈증과

장부에 병인서정신부주호의에 공표리 이하 고
정표에 아부정표 부정표 정표정표 정표정표
정표정표 정표정표 정표정표 정표정표 정표정표

안하의대

朝鮮國京城 洋酒都賣 限本商行

鑄洞 (뿔작관) 一手販賣

日局方
和漢洋藥廣賣

各位ノ御愛顧ニ依リ増々盛商華厚謝候禮
一層勉強仕候間不相違多少ニ不限御注又
御用ノ程快テ希望仕候

成尾安五郎

旅館
東京
館

○知 明 心 は 所 生 と 可 と 十

スコツト乳 是大亞細亞石灰及
曹達を配合したる
にして其の好味なる事

も胃腸にも敵對せず酒
化を助けけるものなり

肺病、氣管

支炎、瘰癧、及喉咽病、之効能

乳葉の右に出るものなし既に萬國名醫の
賞賛を博したれば誠に用ひて其旨の處をらぶ

るを知り給へ
全圖列る處の要諦に要綱をわれば如最寄りに
て知財求を乞ふ若しこれなき時は下記の特約

紐育製藥舗
スコット

及パウソ敬白

日本特約販賣店
小西義助

朝鮮國一手販賣

京城總店
限本商行

入荷廣告

一皮座蒲團丸形角形

一曰本
人向
朝鮮
向石
輪

右新着廉價販賣仕候條

多少に不係御用被仰付

度奉順候也

泥規 鈴木大阿堂支

御愛求下度此段伏々々々願也
泥規第三拾貳號

阿津阪商店

三個月	七拾	錢
一個月	貳拾五	錢

六個月 壹圓參拾五錢
五圓活字貳拾字諸堂行壹圓金
錢伍し行數及回數によろ翻引

各金に憑替前金にて可申受候
發行兼印刷人 庄林組

西 國 人 島 田 權
朝鮮國京城南門會賢坊驛頭吳

發行所 漢城新報館

漢城新報

刊發日隔

雜報

關於名譽損害賠償裁判

前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判... 前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判...

前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判... 前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判...

前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判... 前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判...

前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判... 前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判...

前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判... 前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判...

前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判... 前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判...

前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判... 前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判...

前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判... 前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判...

前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判... 前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判...

前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判... 前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判...

對密之模樣

前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判... 前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判...

前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判... 前經判事官... 關於名譽損害賠償裁判...

[illegible]

박스로움

此報上地方

最上門	一錢三分
上門	一兩二錢五分
中門	三兩五錢
下門	六兩七錢五分
最下門	每月納銀二錢五分

以上各門之稅
 以上各門之稅
 以上各門之稅
 以上各門之稅
 以上各門之稅

雜報

圖書捧呈

原全權公使は本日午後四時、圖書捧呈の爲り明
禮宮に参内せられ、大君主陛下に捧呈し、同宮
より御覽なりと之を受けさせらるゝ筈なり
●金炳始氏の消息
同氏は一日、大君主陛下より謁見して何事か
上奏する所ありしと

佛國共和紀念祭

一昨十四日は佛國共和紀念祭の當日なりしと
以て各国外交官、領事、武官、海軍の大臣、
協辦等同日午前祝賀の爲め同公使館に集れり
此日我公使館よりは原公使、日駐書記官、西
邊、新橋、野澤の三將校、加賀外交官、領
事館よりは加賀領事何れも同公使館に至りて
賀辭を述べられたり

名譽損害賠償
に關する裁判

去る十三日は又た午前十時より豫備裁判の名
譽損害賠償に關する裁判ありたり此日も官席
判事何れも同公使館に至りて賀辭を述べられたり
●名譽損害賠償に關する裁判
去る十三日は又た午前十時より豫備裁判の名
譽損害賠償に關する裁判ありたり此日も官席
判事何れも同公使館に至りて賀辭を述べられたり

昨日の裁判

●昨日の裁判
昨日の裁判は、名譽損害賠償に關する裁判
に關する裁判ありたり此日も官席判事何れも
同公使館に至りて賀辭を述べられたり

●名譽損害賠償に關する裁判
去る十三日は又た午前十時より豫備裁判の名
譽損害賠償に關する裁判ありたり此日も官席
判事何れも同公使館に至りて賀辭を述べられたり

●昨日の裁判
昨日の裁判は、名譽損害賠償に關する裁判
に關する裁判ありたり此日も官席判事何れも
同公使館に至りて賀辭を述べられたり

●昨非非平
常國官吏に與る者ある人あり其き過りの如
く出たたり位は一品に至り光榮人臣を稱した
り何故か近來掛念の念頗るに覺回さるるが故
とをいふ計つて懸念をあらわしめたり

●昨非非平
常國官吏に與る者ある人あり其き過りの如
く出たたり位は一品に至り光榮人臣を稱した
り何故か近來掛念の念頗るに覺回さるるが故
とをいふ計つて懸念をあらわしめたり

●昨非非平
常國官吏に與る者ある人あり其き過りの如
く出たたり位は一品に至り光榮人臣を稱した
り何故か近來掛念の念頗るに覺回さるるが故
とをいふ計つて懸念をあらわしめたり

て曰く是は汝が親類に遺棄するの事なりとて、
て京に歸るに多年、年計不學として親類下
之を聞き痛哭食を絶つこと數日遂に得て亦
九嫂はとも無くして死す而して父母の遺骸
戚某悉く之を葬ひ以て兄と違ふ孤身子を托す
べし凡人なき惡逆遂に此極に至るべきは事は

計金六拾四圓五拾錢
金百五拾圓五拾錢

平田	寅吉	若見喜代助	田中登太郎
四五右衛門	中尾吉三郎	福井清太郎	
六拾四圓五拾錢			



하 지 시 루 시 고 잔 부 도 슈 광 고

올이란 손목이 이데치 아니면... (Text continues with a detailed description of the wine's benefits and its status as a 'pilgrim wine' for various ailments.)

同屋 近藤利兵衛 朝鮮國特別販賣店 限本商行
사라도양주파는외와일은안방과항화전에가시면잇술거시니갓가온뒤서구사시

式銃銃銃銃
屬附銃銃
會商川石
帽西長護
子洋服履履
各種履履

スコット乳 肺病氣管
支炎癰瘻及喉咽病
虛弱小兒 (Text describes the benefits of Scott's Emulsion for various respiratory and general health conditions.)

紐育製藥舖 スコット
及パウソ敬白
日本特約販賣店
小西儀助

朝鮮國一手販賣
京城 限本商行

魚 鯛 八千代卷 鮑
時鳥卷 時雨紫艸屋
煮付海苔分 味付海苔分
子 其他罐詰各種

日商方和漢洋藥廣賣
各埠均有代售 (Text lists various locations where the products are available for sale.)

入荷廣告
一皮座蒲團 丸形 角形
一夏麥 帽子 色々
一日本人向朝鮮向石鹼
右新着廉價販賣仕候條
多少に不係御用被仰付
度奉願候也
鈴木大阪堂支店
東京館

明治廿九年 緞居加一
廣 告
一草鞋 以上每枚代價五錢ノ類
一日本笠 以上每枚代價五錢ノ類
一荷車 每輛代價五圓
一薪 百圓目ニ付代價四圓
一木炭 百圓目ニ付代價六圓

發行所 漢城新報社
北川 醇
一 改 貳拾五圓
一 改 貳拾五圓
一 改 貳拾五圓
一 改 貳拾五圓
一 改 貳拾五圓

●李範雲氏の出發

既配の如く、原本懸空使は一日、午後三時半より國分通御下と號へ圖書格呈の爲め、明使館に参内せられたるが、大君主陛下は、内大臣率殿地、外務大臣、幸完用、外務協辦高木喜兵衛と從へ已に同席に出、如伺四時に至りて圖書格呈の式と舉行せられ式了りたる後復た直に露公使館に還御せられたりといひ承りぬ。

●野津大尉の謁見　我公使館武官野津大尉は一日、即公使館圖書格呈の際、大君主陛下より謁見を賜はる。

駐米公使李鴻章氏は其の夫人及び本年十歳ある一子と携へ愈々一時日午前七時過ぎ當地に出發して赴任の途に上り當日朝鮮政府の各大臣、協辦の他の閣員及び兵隊知友は薩福連見送る氏は同地より陸路下仁せり而して仁川よりは昨日本國領國エークロン號に便乗して芝罘に向ひたるが氏は同地より更に上海に渡航し茲にて便船を御合せ失ふる米國に在る者も亦少くなく主として朝鮮新領地官吏等便船次第仁川より直に上海に渡航し同地に於て公便と落合ふ様定まる由

在米公使館發着官異動　在米國公使館附在米公使館發着官異動　在米國公使館附在米國公使館發着官異動

日外新聞記者并其明氏其校と稱げり

日本勅令第三十一號を以て左の如き鐵道規則を發布せらる

第一條 國內人民の往來と物品出入の便利を謀り國內各地方に鐵道を敷設す

第二條 國內各地方鐵道の尺量と均一にし以て輪車として彼此互換し妨害無からしむ

第三條 國內各地方鐵道の實收は外國現行の常規に従ひ鐵道の間隔を英尺四尺八寸半と定む

貨は農商工部大臣之を定む

第五條 國內各地方に鐵貨を敷設せんとする
場合には、内外國人を論せず、凡て此規則を
遵行し、乘車貨及び貨物運賃は農商工部大臣
と協議して之を定むべし

第六條 鐵道に關する細則は農商工部大臣
之を定む

附則

本令は頒布の日より施行す

●地方制度の鈎取可及實施
地方制度改進黨案は此種關係の決する所となり
て、こゝでは如欲可とも採たり然れども其後の關係
には當國の形勢昨今の如くんば如何に制度
の改革と爲すも之れと實行する所は難きと以
て寧ろ明年結成の事務相と諸に就くと待て之
れと發事せんとに如決したりと傳ふ
●沈相源氏　は近々其鄉里に歸へるからん
との聲あり一時の用作ありて然る乎終た掛冠
高閑の意ありて然る乎
●中興と帝冠と
●夏宮家の遺一

以前一語の支那人が着用せし衣服及び帽子
集めて一種の服制を工夫し又た漢城國範
長は日下教授の歴史及地理書を生徒の清
書願聖人に對する尊敬の念を現せざるの
虞うとて之を教授を廢止し又た外國品あり
て以て服制及び白帽の使用を廢したり云々
右私説をべし

の徐氏の發習一軼說事件を以て世人の物
ひと爲りし鄭僑民氏及其諸親身は皆を是れ
代充ぶが如きの人とこれに對せる名譽損害

渡部が池に水泡に陥るべきは明白なる餘餘餘
 氏其機關紙に記して曰く二千圓の要償金手に入
 入りちば榮げて獨立公園に寄附すべしと想と
 に二千圓餘氏に取ては慈願の念にあらざる
 して強め其義捐を公言する誰れか其の公共に
 に當りてと認せざるん氏も亦た如才なき人な
 る哉
 ①一箇措大に過ぎず 鄭氏の彈疏置に現け
 るや世人皆謂らく鄭の背後必ず有力ある物
 動あるべしと而して裁判は開かれ附答はぬ

宮内府顧問官たるリ
 氏の見の尊高し
 入京せり
 宮内府顧問官たるリ
 氏の見の尊高し
 入京せり

○ 爾時使と檢事の職然り。 查警務使が檢
事の組合狀と稱は付けしとの故を以て双方の
間は確據を生じ給ふと發せし勅諭と來り朝たる
事、是日、の紙上に記せしが右は此稱組合、今
查警務使より男爵が檢事は組合狀と受理
すること相違料ともして

宮内府官吏の男勲 左京院卿李鎮健氏
多允用、李亮用二氏の實父と稱を以て其職
を辭し侍從院卿金景漢氏は左京院卿兼王太子
少府助官に、樞密院卿閔潤氏は侍從院卿
に昇進し去る十四日任命ありたり

○匪徒の七書 (前々報の續)
 甲午(二十七年)より以後逆賊日人を挾持し我國をして自主の國たらしめ 大君主の尊嚴を

及ばずして飽ゆる自主とは朝三暮四の術に過ぎざるあり萬國公法に曰く凡そ邦國は國法の如何に拘はらず苟くも能く自ら其事を治めて命を他國に聽かざるを自主と謂ふべし此二條を以て試みに今日を觀れば自主と自主の別辨をるを得たずして自から明かなり我國に就て苟くも能く自主の實を定むじ政教法度を更張して上古を祖述せば則ちち虞夏の政、孔孟の道、勝て用ひ可からず近古を憲法せば則ちは、如趨の典、稽古の學、足らざるを恨みず

奈何せん日本の強に倣ひて之を略奪を傳行して一國と爲隙に附し解道と義讓に遺つ其の作爲數難凶暴の資、強形の本に非ざるはかし罰むる開物成務、化民成俗とは斯の如きものなるや生帶帶つて租と公法の梗概を知らずんばわらず罰して一國公共の難、我國にては之れを士論と云ひ外國にては之れを民權と云ふ外國の人、民權を重んじ公議を崇ふを知らば則ちはち宜しく我國士論の重んずべきを知るべきなり罰むる公共の議は獨り西洋に行ふべきも

のにして東洋には行ふべからざるものあるか
生藩兵を郊外に合し少數の同志を伴ひ大旗し
存在に上成して復讐煙草の事を請ひ各國公使
と會して大々談辨し我國をして自主獨立の邦
と爲し以て依附の念を斷ち外國の嘉稱と解さ
るゝ以て萬國平洋の體と立て世界の政、孔孟の道
と以て一體を解釋する事とす。此を國とせしめ
ものなり

● 獎業議員の行商 全縣勸業山田地方の狀

●元山に於る外國軍艦　去る二日午後四時
頃英艦三隻元山港に入港し翌三日北方に向て
去り又九日には露艦一隻同港に入港せしが數
時間にして何へか向け出港したなり
●道路取返す　延吉町鐵路取返しが就き朝
鮮政府は開町附朝鮮軍の一語と表着きは一聞
し

夫の千草郷氏が其郷里忠誠道江景より去る
七日付と以て築紫國へ寄越たるの一份は却
る同地方の事情を知るに足るもの有るを以
て只収し再昨日右代金を夫れ／＼交付したり

料理	衛生	夏の	さる	に優	生肉	生魚
●	●	●	●	●	●	●
伽	竹	松	佃	さ	い	あ
羅	の	た			わ	ま
ふ						章
き	子	け	者	け	鯛	魚

日本
東京
町登

닥거서, 남녀간의, 상하귀천업서,
신호문의, 업논사름이, 업고, 육국
성이, 외신상담하는, 마음으로써, 평
을, 기다들면서, 긴글을, 스무는, 속
하기로, 함써서, 아문조류, 뒤서외

(五)

전하고자 할시, 국진호슈교를 앓기
지 아니하고, 그중에, 유도를 버리
지 아니하며, 서학을, 추송치 아니
하고, 인고작금학야, 두가지스이에
절충학야, 긴밀노만, 갈며서, 휘하
야, 국가와, 비성외게, 리를고, 유익
하도록만, 씨니, 이나라를, 비호지
안하고, 어느나라를, 비호리요, 할
을며, 갓갑고, 편학야서, 다른나라
노를비호기, 보담, 사반공비호노심
가보다, 차품다, 세상사름을, 위하야
크고, 지한한한한한한한한한한
음정음, 적당치못하노니이로다, 하

[illegible][illegible]

●獨立門建設　此事に就き、昨午午後二時、各節大臣は、他幸在正安廟等、の諸氏、廣原所見、平園に會し、頗る、所ありしと。

●尹總理の用意所^に到^りて 遼東地方制度改革の草案成るや總理大臣尹容善氏は之を閣議に提出するの前一本宛各大臣に遼附し法の變易は政府の威信に關する事からす今回改訂成る慎重を要す故に頗り熟慮審思ありたしとの主言を通知したりと云ふ

●軍船阻航に答ふ　御島嶼外三名の匪徒と
以て爲るは致せし事は匪艇の上背を廻して
去る十四日及び廿八日の木紙上に記せしが如
し李軍船は賊の阻航爲すなきを見るやすか
す之に對し宜しく其策を解かす對眼の男兵
一快戦を賦け入るは固著したるなり云々

の辭を各文之主の辭に用ひたる所大に注意すべし
辭令書の書式に於て、兼修政院大學士との七字
を附加せんとその職内閣に起り居れども傳ふる
もの有り、其主旨とする所は辭の如くせば、用辭
と爲た美にして名を死後、に傳へて辭用するに
足ると云ふにありと云

●民事訴訟落着

鄭進士の彈劾に對し徐載弼氏より要訴せる
千圓及び朴定陽、趙秉世、李允用、安鼎福、
金嘉猷の五氏より要訴せる一千圓犯の名譽を
害趙假に關する民事訴訟、愈々一昨日高等
裁判所より判決宣告ありたり當日も級別及ば
ず陪判事權在衛氏代理し判事洪鍾模、同僚
善の二氏陪席せり開廷は午前十一時の決定を
以て原告の一人趙秉世氏所り豫定の時刻に
出廷せざりしと以て暫く之を待ち旁聴半
に至りて始りて開廷し先づ徐載弼氏の要訴に
對する宣告あり其の大意は鄭載告は徐原告の
要訴に應ずべきものとし其の理由として對者

の際に於ける原販附告に供の要と染紙陳告に
原告の署名を損害したるものなりと判決し
賠償として被告は原告要求の金額二千圓
支拂ふべき義務あるも被告の財政之に充
てる能はざるべきを以つて裁判官に於て其の

賠償金と一千圓と定めた該金額は裁判所に於
取り立て原告に交付すると云ふに在。次で朴田
陽氏外四氏の要訴に對する買賣あり其の大體
は右と略々同じく裁判所は原告の要求通り買
告より都合五千圓を取り立て各原告に一千圓
宛を交付すると云ふに在り右終りて地裁判決

罪の適用　罪過士の刑事に移されたる
と別項記載の如し而して判事中には之れが「
の適用に就き二論あり一は實りに從ひ原告
を以て之れに適用し以て候を惡はずと云ふ
は輕きに從ひ上告を許さざるに照らすこ
ゝ云ふ未だ何れとも決せず」と云ふ

●李參政官等の出發期　在米公使官附參政官李宜鼎及び附書記生李敦復の二氏は来る二十五日當地出發赴任の事に略ぼ内定し居る由

當國の政務事業中苦しく難達せしは郵遞事業にて今や隨に政府と密の外は全國各府縣の郵遞網の設置を見ざるふきも庸だ罪に至るは未だ之れが設けなきを以て農商工部に於ては此程來大に郵遞網路を擴張して釋々郡に及ぼし各郡に一名宛の遞送人を置かんとす計非を爲し居る由

●高越郡守役なる 高越郡中洪越軒氏は源
股岡地方藤祖の爲めに役寄せられたが、今村
の被害當時の模様を聞くに一日数百名の暴徒
突然郡衙に突入し直に洪氏を捕へ百方威嚇と
試み徴收しある租税と悉智盡すべしと迫り
るに氏は顔色自若として毫も動るゝ色なく
つて曰く國家の租税汝等何爲ぞ之れを要求す
るや我れ固より之れを奉ふるの義なり汝等亦
之れを求むるの道なきや我れ八百圓の
私財あり之れを奉給せん國家を以て我れ損
ふべしと暴徒は尤づ八百圓の金を取り彼等

ひに洪氏と致書し許せて口説をも察ひ去りやうと
 〇事務官料に就く 同校事務官福菜氏之
 此福事務廻の手に補ひせられたる由計りあり
 何故するやは未だ明くとせず
 〇受米米田物部館に廻はれんとす

長承とは常國路邊に建てある田舎なり木を以て作り其上竝に一種異様の彫刻あり其狀或は鬼面に似たりは人面と象れり宋國人某は之を恒國博物館に寄附せんとて此種附大門外約一里ある常國附近の長承を抜き取り近便にて圖に送る筈なりと聞く

●釜山の育成學校　釜山育信に依れば開成
板の下すの開成學校は創立以來日と經る未だ
久しからざれども先づの聲望は朴珪瑠正等の
熱心する期間で秋野實良氏の懇切なる教訓
とに依り生徒の数は日に増加し學業は著し
と進歩し中女頭實力の如きは既に日本内地の

常算三年生以上に匹敵し得べき事なり又た金
幣に預りても最厚や俸廼の用語は明瞭しけれ
ば授業にも大抵日本語のみにて差支へしと
云ふ

●兎旅の奇針叔父の跡を教ふ 岡岡道雄撰
 郭に高某と云へる輩なり父母を失ひ叔父某
 に養はれるに故郷還郷にして讀み書きの修
 業は云々までも無く又少しも家業の平助は
 ともあらずるやへ叔父は之と最と厄介に思は

平生出て行けぬしに縛縛すると流石の賢白も
 賢も頗る心苦しく思ひ居りぬまる取返る目的
 事取交何事よりか同村の域者ぞ激しく抗議
 を起し遂に相手となぐり殺したるにぞ村民等
 は人殺し々々々と呼はりつゝ、復百名とぞく
 場に残せ殺さうと夾れく手を分け一方には

使を禁ばして、國を其地管轄の使所に歸へし
には加害者を縛りて嚴重に之を因循し死体
をも觀人どすく附き置ひて之を守り以て法官
史の出来を候れり孫文は國を心にのみ只爲
る叔父の身の上と心配し平生養育の恩に酬
ふ報情を助け直すは危時なりと決心し色々
之を救ひ出さん謀略を考へたる末忽ち手許

案出して夜更けて寝に死体を隠ける家屋に忍び入り番人の目を熟睡をうと窺ひ燈火を吹き滅し死体を殺へる夜具の中へ匍ひ入りシツカとし死体を隠す

る者共ふと目と覺えし歸水の城へ居るを見て
何心なく更らに火を點せんとせしに童子は夜
其はぬ除けてゝツツと起き上り圓く屍体を抱
き計りながら悲船を獲して戸外に走り出で
江に到りて水に投じ已れは水中を出りて對岸
に出で我家に知り何に喰はぬ預してまじし居
たり死体の番人等は斯くとは知らず死者蘇生

不思慮は二一問難答然らずとて采され居る所
法宮警打連れて來着し群はし其朝來とて
早速追被害者の行跡を踪索して南江の水中に
死体の浮び居るを發見し法官は之を以て疑は
死因はわづらひ發狂して溺死したるものなり
と断定し加害者は直ちに無罪放免と爲りし如
くて救はれし孫の叔父は全く烟代奇計に依り
て殺身の助かりしことを知りて深く之を悔
ふ事蹟傳へし其子なりとて其遺囑實行に依
るに到りしなり

●鐵道工夫 京仁間鐵道條約には工夫は十分通り明算人を用ゐることゝ爲しあるを以てて工事着手も程遠からざる今日其代筋にては既に東部諸君は各々各々其の準備を以てして、
づる者限る多く中には百人長は千人長とぞ
りて役夫募集と受負はんを希望する者あり

此凡等は形からぬ附略を使ひ居るとの裏面あり

●手帖の中に二通の手形 東大内門某寮に
所の巡檢は此程其附近にて一個の手帖と拾
上げし中に額面數百圓なる二通の手形あり
たる由而して該巡檢は之を私せし其持主のす

● 汚穢物蒐集 目下二三の韓人間には、城戸各戸の厨芥及び其他の不淨物を取り集り之を肥料として賣却せんとすの計畫ある由、衛生と經濟利用と一舉兩得の念だてと云ふべし。

● 朝鮮の天牢 は朝鮮貿易品中、最も重要なるものにして、

るものにて品質極めて佳良なるが目前の利
達ひ易き線商の事とて輸出の悪性を海水を
り攪きて質を以て不正の利を貪る者
るべ之が爲め品質を悪くして信用を落し時

しては物語の趣散せる爲か他格と月さ下げ
凡て却つて損を爲さざりて然れども彼等の
なる迄も價格に傾着るに重款の増つて此上
無き好工矣と稱へ居るもの、如しと云ふ

●奇貨爲之中へ大金を得

早稲とて母某とて母の賣家と交はれ

一貫生あり、齡二十歳と超へても妻と娶るの心
細くひたより身の不幸と嘆ち居りしと母
弟某は最と氣の毒に思ひ世間には之れと書
と言ひ知らし江西南都の寶隆家金業に向つて
乞ひ申込あり時に金氏の家に三人の娘あり

に我輩に劣らぬ他の金満家に嫁し、醫年十八
なる水の一女のみ獲り、加う即ち此の者とは
婚の約を尾書し、翌日に至り、母生は叔父
衣服を借りて、湯敷敷也き襦袢、耐に着飾り、性
金虎の女と娶りけり、金虎の家にては、好き花
取りたりとて、一ト方ならぬ満悦くと、近隣のま

新婿の娘生
け置きて已
もわてられ

親には初め
ひ山さんと
新婦にてお
め生は之れ
は斯くく
く其の身事
一家の人々
の一生生を

恨めは数見
する所人も
特に野重
奇策を絞
服に盛り紅
と越へて甘
ひしに蜂生
と争闘して
に別れん雲
が一生の熱

たひ人に嫁
共にそべし
略妻に明か
之れを承

在るに
感動大方
来せし
悲んで牛
に増み居
の後数日
の世話を

れば念の爲
親は打撲れ
りながら如
て申譯す
し如は死す

に合ひ登り
庫に案内し
無き待遇を
に打替へ相
殺子と説く

妻非常の爲
前已でに柳
が家此境を
一宵の通知

含んで詰
に涙を浮べ
要るの力を
廻り出して
わじまな
所まで押

運せん程に
 妻の弱を憐
 と強ひて其
 困窮はる

此れよて承知し呉れられと手合せての趣
頭には生もマツトの事永宿し現角此金暫
時が間安預り致さん云ひつゝ腰に收りて立
る解へり翁は後にて甘く燗はたぐみに
病うしと知り遠望みして苦やしがれせも最早
や及ぶく終生は奇策命申して一時に數百の
金と得其得意言ふべからずと強硬だまして
金と誓ひ持として庇つること世の晩年と
●京成居留本邦人戸口 當京城に居留せる
我日本人戸口最近調査に就れば左の如し(軍
人出陣及其他調査と算入せず)

府縣	男	女	男	女	合計
北前縣	一六	六	三九	一三	七〇
東京府	三	二	一一	一	一八
大阪府	三	三	四五	一六	六七
神奈川	一	一	八	二	一〇
兵衛縣	二	一	二四	八	三四
香川縣	一	一	五	二	七
奈良縣	一	一	一	一	二
長門縣	一八	四	二九	二八	三九
岡山縣	一	一	二	一	二
埼玉縣	一	一	二	二	四
富山縣	一	一	二	一	二
千葉縣	一	一	一	一	二
茨城縣	二	一	一	一	三
栃木縣	一	一	二	一	二
群馬縣	一	一	六	二	九
三重縣	一	一	二	二	六
愛知縣	三	一	九	二	一三
靜岡縣	一	一	五	一	七
山梨縣	一	一	一	一	二
滋賀縣	二	一	一	一	四
岐阜縣	一	一	八	二	一〇
長野縣	一	一	一	一	二
宮城縣	一	一	一	一	二
福井縣	六	三	四	一	一三
岩手縣	一	一	一	一	二
青森縣	一	一	一	一	二
山形縣	二	一	一	一	三
秋田縣	一	一	一	一	二
石川縣	四	一	三	二	八
島根縣	一	一	三	二	七
鳥取縣	一	一	一	一	二
岡山縣	二	一	三	一	五
山口縣	一六	七	二二	一六	三〇
和歌山	二	一	六	一	九
徳島縣	一	一	七	三	一一
高知縣	一	一	一	一	二
愛媛縣	三	一	九	四	一七
福岡縣	一四	三	六四	二九	一〇〇
佐賀縣	七	四	三六	一六	六三
大分縣	六	四	一〇	七	二二
熊本縣	二	六	七一	一三	一三四
宮崎縣	一	一	一	一	二
鹿児島	一六	五	一九	一〇	五〇
沖縄縣	一	一	一	一	二
合計	一六九	八七	六五七	二二七	一五五
人員合計	二一七	百十五	五	五	二一六



日本郵船株式會社
瀛船仁川出廣告

肥後丸 七月廿七日 出港 同廿六日入

玄海丸 七月三十日 出港 同廿九日入

豐島丸 七月卅一日 出港 同三十日入

薩摩丸 七月廿四日 入港 同廿三日出

長門丸 八月十三日 入港 同四日出

顯益號

蒼龍號

海龍號

日本郵船株式會社仁川支店

大瀛船仁川廣告

信濃川丸 七月廿一日 出港 同廿日入

隅田川丸 七月廿一日 出港 同廿日入

二見丸 七月廿一日 出港 同廿日入

筑後川丸 七月廿一日 出港 同廿日入

白川丸 七月廿一日 出港 同廿日入

木曾川丸 七月廿一日 出港 同廿日入

仁川荷客取扱所

京城支部

第貳會正風集題

入花

豐秋園瑞穂宗匠樂撰

寄限

投込所

正風會

水鏡月

主産

廣告

京城中部長通切上件... 昌興會社

瑞西製

最新チスルスミルク
一箱金拾三圓五拾錢
一打金三圓五拾錢
一個金三拾錢

中嶋

瑞西製
最新チスルスミルク

龜屋分店

大正九年七月二十日
大江商店

廣告

帝國生命保險株式會社

阿津阪商店

明治廿九年七月二十日

絨居加一

明治廿九年七月二十日

和洋藥廣賣

日本大藥房

生魚 生肉 夏の衛生料理
●飯 ●章 ●魚 ●
●松 ●竹 ●伽 ●
●の ●た ●子 ●
●煮 ●け ●
●味 ●時 ●
●福 ●

和洋藥廣賣
●金銀各種 ●
●眼鏡 ●
●手鏡 ●
●鏡 ●

和洋藥廣賣
●金銀各種 ●
●眼鏡 ●
●手鏡 ●
●鏡 ●

和洋藥廣賣
●金銀各種 ●
●眼鏡 ●
●手鏡 ●
●鏡 ●

廣 告 品 屬 附 統
 著 荷 銃
 二 元 西 洋 新 式 銃
 連 達
 日 本 村 田 式 銃
 會 商 泉 和 護 漠 履
 帽 西 洋 服 各 種 履
 子

告 品

第二之シテ飲用スルハ精神ヲ興奮シ以テ精神ノ過勞ヲ防ス可ク性慾ノ興奮ニ至ルヲ止ムベシ

第三之シテ常用スルハ血液ノ循環ヲ加速ナラシメ以テ筋肉ノ發育ヲ助メ骨格ノ強固ヲ爲スベシ

身休ノ健全ヲ計ルナリ

之レヲ檢スルニ、國兵國味ヲ見テ違地國邊及ビ違洋領海ノ船尾用トシテ、地邊國邊ナルモノト認定スルニ、今回ノ統計ハ、本邦ト殺シテ、東土藩ノ注ヲ違ナルモノト認定スルニ、今回ノ統計ハ、本邦ト殺シテ、東土藩ノ注ヲ違

夏期ニ出ア、夏期ニ退ヘリ殊ニ土藩ノ正下ヲ經過スルノ間度ニ及ビ必ク不國邊多カラント想像セシム少シモ其ノ懸掛ヲ見アルハ品質其好ナルモノト認定ス

ト實ニ今一收フニ其ノ効能ヲ國々セザルモ以上ノ實狀證明ニ徴シテ知ルベキナリ

朝鮮國特約店

陽本商行

朝鮮國京城泥泥
御幸此ノ朝鮮國ハ肥後國ノ所産メシナ
味ノ美好ナリ遠ク此品ノ及ブ所無クア
且ツ侵日ナリクルト雖モ腐敗ノ患無ク味
一節々善（置ケバ出右ノ菜葉子トレ最上
ノ好品ナリ大方之味一節々試シレ
五ハシロクヲ試ス

小林菓子製造所

一皮座蒲團 丸形 角形
一夏麥 帽子 色 今
一日本人向朝鮮向石鹵
右新着廉價販賣仕候也
京屋
泥屋
鈴木大阪堂支店

明治二十九年七月
京阪滬航
三十八號

由原旅館

一、枕 貳拾五圓
一個月 貳拾五圓
三個月 七拾圓
六個月 壹圓貳拾五圓
五錢至貳拾手拾壹行愛回金六

成尾安五郎

●新設は現況と異なす
●客旅
●東京館

發行所 漢城新報社

●田莊經濟之使用
지자일관보중 시
로임명하산, 영영의단슈조판현세 의
고신단슈니한인저의향은모노고인
파(영영등지도출주)田莊하연단장
관언크도비불처비한무가리하시
유기수불임명호코트표적예자와

● 申進士問答記

(六)

이 의 품과 발근 것이 다른 것 술의
지문함이라 만일 일본의 서가 음변
되었을 때 한 할 편편과 같은 지아니 하
사람이 음스리라만 음법이 된 뒤 그
일이 되 일본인의 혼자만 리를 고한
한게 아니라 조선과 한가지로
리를 고자 되었으며 조선만 위하
고 아니라 자아나라와 영케와 나
리브랑 가라 그 처자나 영이오 그
그 법은 바 마저가 그 기온과 후
부호 비전과 조선과 비교하여 이 악

5

아름정미 일도의 열서지고 삼자
어구라 상설회, 일은기를하며, 관장
외게, 호소할수도, 업게만드릿스니
이럼은저, 이세져지 일이라도
일논을, 또타한사람의 일을하노
도, 또지못하고, 우리인민안
원각과우연, 영문안마, 두고보와
실뜻함도다, 신진사가, 웃고되답
야, 이리, 데단쳐일이되, 조선사
음의, 본원하는마음의, 적은것시

•

牛久保の二氏は親衛隊附府校より出て、地方

[illegible]

Figure 1. The effect of the concentration of the solution on the adsorption of the dye. The concentration of the solution was 0.01, 0.02, 0.03, 0.04, 0.05, 0.06, 0.07, 0.08, 0.09, 0.1, 0.2, 0.3, 0.4, 0.5, 0.6, 0.7, 0.8, 0.9, 1.0, 1.5, 2.0, 3.0, 4.0, 5.0, 6.0, 7.0, 8.0, 9.0, 10.0, 15.0, 20.0, 30.0, 40.0, 50.0, 60.0, 70.0, 80.0, 90.0, 100.0, 150.0, 200.0, 300.0, 400.0, 500.0, 600.0, 700.0, 800.0, 900.0, 1000.0, 1500.0, 2000.0, 3000.0, 4000.0, 5000.0, 6000.0, 7000.0, 8000.0, 9000.0, 10000.0, 15000.0, 20000.0, 30000.0, 40000.0, 50000.0, 60000.0, 70000.0, 80000.0, 90000.0, 100000.0, 150000.0, 200000.0, 300000.0, 400000.0, 500000.0, 600000.0, 700000.0, 800000.0, 900000.0, 1000000.0, 1500000.0, 2000000.0, 3000000.0, 4000000.0, 5000000.0, 6000000.0, 7000000.0, 8000000.0, 9000000.0, 10000000.0, 15000000.0, 20000000.0, 30000000.0, 40000000.0, 50000000.0, 60000000.0, 70000000.0, 80000000.0, 90000000.0, 100000000.0, 150000000.0, 200000000.0, 300000000.0, 400000000.0, 500000000.0, 600000000.0, 700000000.0, 800000000.0, 900000000.0, 1000000000.0, 1500000000.0, 2000000000.0, 3000000000.0, 4000000000.0, 5000000000.0, 6000000000.0, 7000000000.0, 8000000000.0, 9000000000.0, 10000000000.0, 15000000000.0, 20000000000.0, 30000000000.0, 40000000000.0, 50000000000.0, 60000000000.0, 70000000000.0, 80000000000.0, 90000000000.0, 100000000000.0, 150000000000.0, 200000000000.0, 300000000000.0, 400000000000.0, 500000000000.0, 600000000000.0, 700000000000.0, 800000000000.0, 900000000000.0, 1000000000000.0, 1500000000000.0, 2000000000000.0, 3000000000000.0, 4000000000000.0, 5000000000000.0, 6000000000000.0, 7000000000000.0, 8000000000000.0, 9000000000000.0, 10000000000000.0, 15000000000000.0, 20000000000000.0, 30000000000000.0, 40000000000000.0, 50000000000000.0, 60000000000000.0, 70000000000000.0, 80000000000000.0, 90000000000000.0, 100000000000000.0, 150000000000000.0, 200000000000000.0, 300000000000000.0, 400000000000000.0, 500000000000000.0, 600000000000000.0, 700000000000000.0, 800000000000000.0, 900000000000000.0, 1000000000000000.0, 1500000000000000.0, 2000000000000000.0, 3000000000000000.0, 4000000000000000.0, 5000000000000000.0, 6000000000000000.0, 7000000000000000.0, 8000000000000000.0, 9000000000000000.0, 10000000000000000.0, 15000000000000000.0, 20000000000000000.0, 30000000000000000.0, 40000000000000000.0, 50000000000000000.0, 60000000000000000.0, 70000000000000000.0, 80000000000000000.0, 90000000000000000.0, 100000000000000000.0, 150000000000000000.0, 200000000000000000.0, 300000000000000000.0, 400000000000000000.0, 500000000000000000.0, 600000000000000000.0, 700000000000000000.0, 800000000000000000.0, 900000000000000000.0, 1000000000000000000.0, 1500000000000000000.0, 2000000000000000000.0, 3000000000000000000.0, 4000000000000000000.0, 5000000000000000000.0, 6000000000000000000.0, 7000000000000000000.0, 8000000000000000000.0, 9000000000000000000.0, 10000000000000000000.0, 15000000000000000000.0, 20000000000000000000.0, 30000000000000000000.0, 40000000000000000000.0, 50000000000000000000.0, 60000000000000000000.0, 70000000000000000000.0, 80000000000000000000.0, 90000000000000000000.0, 100000000000000000000.0, 150000000000000000000.0, 200000000000000000000.0, 300000000000000000000.0, 400000000000000000000.0, 500000000000000000000.0, 600000000000000000000.0, 700000000000000000000.0, 800000000000000000000.0, 900000000000000000000.0, 1000000000000000000000.0, 1500000000000000000000.0, 2000000000000000000000.0, 3000000000000000000000.0, 4000000000000000000000.0, 5000000000000000000000.0, 6000000000000000000000.0, 7000000000000000000000.0, 8000000000000000000000.0, 9000000000000000000000.0, 10000000000000000000000.0, 15000000000000000000000.0, 20000000000000000000000.0, 30000000000000000000000.0, 40000000000000000000000.0, 50000000000000000000000.0, 60000000000000000000000.0, 70000000000000000000000.0, 80000000000000000000000.0, 90000000000000000000000.0, 100000000000000000000000.0, 150000000000000000000000.0, 200000000000000000000000.0, 300000000000000000000000.0, 400000000000000000000000.0, 500000000000000000000000.0, 600000000000000000000000.0, 700000000000000000000000.0, 800000000000000000000000.0, 900000000000000000000000.0, 10000000

人ありて第五番目の男子と斗星と稱し學問修業の爲めは我家より三四里と隔つる九月山白巡遊に入り數ヶ月間家に還らず一日父の壽星は祖父の病の重きと知らせんとり自ら九月山に赴きしに途中にて子斗星は遙く相傳ふる間途に就きしに如何よしけん斗星は之を二座呼びしき地に倒れたるはば壽星は得意さく之れを抱き起せしに這はとも如何に其兩手に抱き上げたるものは唯だ人の手制のふて其の子の形は見へざりし壽星は最とほむなりとも日比る懇懇し居れる人肉の手に入りたるを喜び馳せ歸へて其肉とよきみ他の眞實に融合して對父に傳りしに不思議する彼三ヶ年の久しき頃ひ預けて早や平癒の見込み盛なりと相へ帝王の位さき容易に得難き地死回生の良藥ありと云ふ

たりと所て子斗星は其後數日を經て家に歸へりしに兩眼とも全く備はりて毫も異狀なれば壽星は喜び且つ訝かり父に遺し人肉の殘餘片とわたり見しに何んぞ爾らん山參の殘餘片と稱たるものとして世に之れと不死の藥と相へ帝王の位さき容易に得難き地死回生の良藥ありと云ふ

●供養聖別并増減比較表

月別	五月中	六月中	家業	差引増減
親行	二	二	一	一
會社	一	一	一	一
貿易商	三	二	一	一
貿易商	一	一	一	一
洋反物商	九	八	一	一
越甲	二	二	一	一
越乙	二	二	一	一
越丙	四	四	一	一
越丁	八	七	一	一
越戊	三	三	一	一
越己	四	四	一	一
越庚	六	六	一	一
越辛	九	八	一	一
越壬	七	六	一	一
越癸	八	八	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一
越丁	一	一	一	一
越戊	一	一	一	一
越己	一	一	一	一
越庚	一	一	一	一
越辛	一	一	一	一
越壬	一	一	一	一
越癸	一	一	一	一
越甲	一	一	一	一
越乙	一	一	一	一
越丙	一	一	一	一

場內射的
開場廣告

京城中區及通切가 錢 貢에 舍社를 開設하
고 軍部機器局에 鐵物과 石炭等 牛를 進拂
하는 兩會라 各色鐵物과 石炭等 牛를 賣用
코져 하는 것이 舍社로 오시오

今般通門及ビ室内射の場ヲ去ル十八日ニリ太
弓俱樂部内ニ開場仕候間御數方旁御來遊願下
度伏シテ奉願候

七月二十日
中
嶋

最新
最良
予スルスニルク

一箱金拾三圓五拾錢
一打金三圓五拾錢
一個金三拾錢

京
烟
泥
烟

龜屋分店

旅館
東京
東京館

● 御取次は親知と習とす ●
 旅 京 通
 館 路 所
 東京館
 ● 御精以は親生と習とす ●

本社朝鮮京城生命保險ノ親ハ自今長
河和泉商會内陸居加一ノ於テ代頭事
務取扱可申候。付當該保險ノ申込、
出金請込等々今邊都々同店ノ御取
扱可被成下此致貴社々候也

明治二十九年七月

帝國生命保險株式會社

帝國生命保險株式會社京總代國事務
ノ義自今弊店ニ於テ取扱ヘ可申候
付此段廣告仕儀也

追々保險科金ノ數ハ各保險人ノ
 額ノ期日ニ御拂込ニ可申答ニ有之候
 成規ノ通り取計ニ可申答ニ有之候
 付自今該期日ニハ必ク各分店へ
 御拂込被下候儀願ヒ被保險人勿
 約人各位ノ廣告仕置願也
 帝國生命保險株式會社

明治廿九年
七月 日
織居加一

一 名肥後
產朝鮮
餛飩

知^ル此ノ朝鮮蛤ハ肥後國ノ名産ニシテ
 味^ハ美好ナリ遠^ク他國ノ及^ビ不^レエア
 且^ニ煖^ク日^ニテ乾^シル^ニ越^スス^ニ腐^ラズ
 一^ニ箱^ニ茶^ニ置^キテ坐^シ石^ノ茶^ノ菓子^トレ最^モ
 ノ好^ム品^{ナリ}大方^ニ之^ノ諸^ノ産^ニ一^ニ箱^ニ試^シ用^スレ
 玉^ハハコト^{ナリ}實^ニ寶^{ナリ}

小林菓子製造所

鏡眼種各銀金 ◎ トーレイバ
 賣販手 一 國鮮朝
 店支辻 岨泥 ◎ 店商辻 洞貞

ナイノト樽廻草ノ儘今般東京輸入元木
 村商店ト特約ヲ結ビ朝鮮國ニ於ケルニ手
 販賣ヲ相營ミ非常ノ勉強ヲ以ツテ賣弘ノ
 儀間續々御注文ノ程奉冀望候
 爾ニ此他弊店販賣ノ樽廻草
 マンドレンスリフナモンドスリーガズル。ス
 トレイトカントハチエーカノオ。カルフ
 ナルキアル。インブンス。コロリナビソヘフ
 ドス。トカボフ。ヤングフンシヤ。
 金銀各種ノ眼鏡ハ何レモ精巧ノ品ニシテ
 今般新荷來着仕リ候ニ付御愛求ノ程奉願
 上候
 此他弊店本案ノ雜貨洋山新着仕リ候ニ付
 御モテ御購求奉願候

料理	衛生	夏の	さる	に優	生肉	生魚
●伽	●竹	●松	●佃	●さ	●い	●飯
羅	の	た		わ	ま	章
と	子	け	煮	け	鯛	魚
さ	●福	●味	●海	●時	●時	●茄
●其	神	付	苔	雨	鳥	子
他	漬	海	大	紫	代	辛
錯		苔	和	艸	卷	子
詰			煮	卷	卷	漬
各						
種						
	泥	店	分	屋	龜	京
況						

廣 告 品
 着 荷 銃
 二 元 西 洋 新 式 銃
 日 本 村 田 式 銃
 連 込 銃
 屬 附 銃
 會 商 泉 和
 帽 西 洋 服 各 種 履
 子 履 履

第一、越國仕族周將軍受顧諱顯候
葬館御宿泊之酒左ノ題ノ相定ノ極々丁寧觀
加愛求被下臣此段似シテ事蹟殊也
泥設第三拾六號

阿津阪商店

一上等	壹圓
一中等	七十錢
一下等	五十錢

外二下等 三十五錢

明治二十九年七月

東京泥焼 田原旅館

發行所 漢城新報社

發行兼印刷人 莊林 個人
編輯人 島田 個人
朝鮮京城南會安段の印刷受

發售は總發行所にて可申受價奉

雜報

●總理大臣辭職之說

임전외, 추리치신, 유영선씨가, 이...

●總理大臣辭職之說

임전외, 추리치신, 유영선씨가, 이...

●總理大臣辭職之說

임전외, 추리치신, 유영선씨가, 이...

●總理大臣辭職之說

임전외, 추리치신, 유영선씨가, 이...

●肥後丸 七月廿七日 出港 廿六日入...



日本郵船會社 廣告

●肥後丸 七月廿七日 出港 廿六日入...

●筑後川丸 七月 日入港 同 日出港...

●白川丸 七月 日入港 同 日出港...

●木曾川丸 七月 日入港 同 日出港...

●仁川荷客取扱所 廣告

●昌興會社 廣告

●帝國株式會社 廣告

●織居加一 廣告

●北川醇 廣告

●中嶋 廣告

●東京館 廣告

●旅 廣告

●館 廣告

●肥後丸 廣告

●白川丸 廣告

●木曾川丸 廣告

●仁川荷客取扱所 廣告

●昌興會社 廣告

●帝國株式會社 廣告

●織居加一 廣告

●北川醇 廣告

●中嶋 廣告

●東京館 廣告

●旅 廣告

●館 廣告

行 出 港
行 出 港
行 出 港
行 出 港
行 出 港
行 出 港
行 出 港
行 出 港
行 出 港
行 出 港

取 扱 所

會 社
會 社
會 社
會 社
會 社
會 社
會 社
會 社
會 社
會 社

會 社
會 社
會 社
會 社
會 社
會 社
會 社
會 社
會 社
會 社

加 一
加 一
加 一
加 一
加 一
加 一
加 一
加 一
加 一
加 一

告 醇
告 醇
告 醇
告 醇
告 醇
告 醇
告 醇
告 醇
告 醇
告 醇

嶋
嶋
嶋
嶋
嶋
嶋
嶋
嶋
嶋
嶋

館
館
館
館
館
館
館
館
館
館

一 肥 朝 鮮 餡
小林菓子製造所
瑞西製
最新チスルスミルク
一箱金拾三圓五拾錢
一打金三圓五拾錢
一個金三拾錢
龜屋分店

第三會正風集題
入花拾五種五種餘ハ登載三判者
豐秋園瑞穂宗匠樂撰
新報二月分號全一ヶ月分三號五號
組各大会無入花十種新報五五分集切商
後リ月分一ヶ月分一ヶ月分一ヶ月分
寄附限額出刊日一ヶ月分一ヶ月分
満額寄附ハ別送報通明記タセ
投込所 正風會
主 住 清水純月

◎ 漢方和漢洋藥廣賣
◎ 漢方和漢洋藥廣賣
◎ 漢方和漢洋藥廣賣
◎ 漢方和漢洋藥廣賣
◎ 漢方和漢洋藥廣賣
◎ 漢方和漢洋藥廣賣
◎ 漢方和漢洋藥廣賣
◎ 漢方和漢洋藥廣賣
◎ 漢方和漢洋藥廣賣
◎ 漢方和漢洋藥廣賣

成尾安五郎
スコット乳
スコット乳
スコット乳
スコット乳
スコット乳
スコット乳
スコット乳
スコット乳
スコット乳

支那藥房
支那藥房
支那藥房
支那藥房
支那藥房
支那藥房
支那藥房
支那藥房
支那藥房
支那藥房

日本特約販賣店
日本特約販賣店
日本特約販賣店
日本特約販賣店
日本特約販賣店
日本特約販賣店
日本特約販賣店
日本特約販賣店
日本特約販賣店
日本特約販賣店

朝鮮國一手販賣
朝鮮國一手販賣
朝鮮國一手販賣
朝鮮國一手販賣
朝鮮國一手販賣
朝鮮國一手販賣
朝鮮國一手販賣
朝鮮國一手販賣
朝鮮國一手販賣
朝鮮國一手販賣

生肉 生魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚
生肉 生魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚
生肉 生魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚
生肉 生魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚
生肉 生魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚
生肉 生魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚
生肉 生魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚
生肉 生魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚
生肉 生魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚
生肉 生魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚

金銀各種眼鏡
金銀各種眼鏡
金銀各種眼鏡
金銀各種眼鏡
金銀各種眼鏡
金銀各種眼鏡
金銀各種眼鏡
金銀各種眼鏡
金銀各種眼鏡
金銀各種眼鏡

西洋新式銃
西洋新式銃
西洋新式銃
西洋新式銃
西洋新式銃
西洋新式銃
西洋新式銃
西洋新式銃
西洋新式銃
西洋新式銃

田原旅館
田原旅館
田原旅館
田原旅館
田原旅館
田原旅館
田原旅館
田原旅館
田原旅館
田原旅館

隔日發刊

漢城新報社

雜報

三限海關に付ての如き間

大君主陛下には我邦三精大義を以て御下
し召され御留置日公使夏栗氏を擧て慰め
る御慰問状を送り給ひ我々天皇陛下には解く
其御厭意に御慰められ給ひしと御承りぬ
●今時の政 想ふ所し大隈君が國の腹割を

は令や益々其の數を増し本國、親國、茂衆、智衆、普山諸國の兵衆は歸建の豫察に避ひ、屈るに家なく食ふに糧なきの懸境に沈み屈るを以つて補苴の爲り一隊の兵を此等の地方へ派遣せりと云ふ

春川府下の松堤に先づに至る

驍殺して再び天下の臣民を安んずるを以て
五千餘名の旗兵を知勳と宛し関氏の部を
攻り下都館を圍み我が公使館を襲ひし以て
明治十五年七月二十三日にして即ち當年の
正月夜から當時の我が日本公使北條茂實氏
を捕縛し、是より來り連綿續くこの無路を關

た無事の民人と致害し或は之を傷け給は
るがらなき旨御座敷御覽より御旨に報告ある
たりと云ふ元來同府下には或てよう一談の
異動電に替へる筈ながら諸官等は熟慮の勢
を以て之を却て一問に於て援戦の暇を聞か

暴民の國權を以て天下の大害となす。我が仇讎は彼我國土の一大災禍を生じ。今日の我が公使團數氏は當夜數日の賓客と相て和賀園々の觀劇計斯術の大任を全ふせん。然と昔年の關係は今日の賓客とせん。昔年の我々今日の敵國と化す時勢の變遷豈に亦た

に聞かぬし。其の故は、
すましからぬが所節よりは、我君侯同令官に
向け見を設し敵取すべき旨訓命とし由
(一) 茂來郡守致野せらる
前項が州附近の地
狀と記して居る後嗣崎守將の餘氏は無雄の謂
句にて此處うとの悲報に接せん。

●電信操引を致し
過る明治二十七年日露戦が起りし時より順政府と協同の上我日本軍隊にて取り扱ひ居

●金剛監の入港　莫は土官権輔生及び海兵學校生徒と廣く出浪及び留遊監視の途に於ても帝國軍艦金剛は去る二十一日脱逃所見り仁川港に入港せり附に朝鮮に來る二十八日朝鮮港と出帆し釜山、光州を経て浦潮洞

●地方制度編纂 共々二十二年四月、各省
我兵站部撤去と共に朝鮮政府へ引き渡すこ
ゝ爲り隔りが去る十七日と至り、副公使は
文を以て意を致二様の引き渡しと爲せり

● 岩城縣松山に入り、（前）岩城縣松山は二

臣等は、
の事に就き協議する所ありし由尤も當日に
論旨出し決定を見ざりしと云ふ
● 川崎氏 去月既來し仁川、
に滞在ありし川崎氏は數日暫く入京せし
に、

● 宮兵衛の下に 爲土官三名、水兵五十
(外に大砲一門)は於る二十一日入京の水兵
二交代しく翌二十二日亦佐の江丸に於て下仁

二三日間滞在の便に於て一
時清歌謡の打精の爲め渡被したる客ありて
これ附りたるも在京中は更に在る模様を
節は弱者と共悦したることをかかし由
●酒國西遊記 久しく類は此居たる

◎李朝明氏の日本行 宮内府主事張明州
は自來ある船と共に数日前日本に赴ける由
用向に明かちらざるも多分亡命者其他の跡
規察の爲りならん云々

清國領現狀如何を知らしめし
 し小修繕及補修等を爲し居れり又此國領
 拂げりし門額は撤せられたり
 ●應賞し冠を去む 堤川韓民鄭成錫は
 江原等地方暴徒の中心と稱はれ材木等

● 洪興宇氏 一昨年金田均氏を上海に召し出して之を謀殺せし夫の洪興宇氏は極悪人にして任ぜられた。

せられけるを以て、
 る急をうゝ巧みに出立し、決て容易に獲ら
 機は、是に於て軍師は同地方の人民に對
 人を引へ來たるも、此は四百金に賞與せ

● 低價官賃制 昨日勸令第三拾貳號を

が有關係者傳に對關ある爲め同會都訂正の上
更らに粉目を定めて擧舉を執行することゝ爲
りし處に已に前号に記述しが尙其節にては居
る民衆會組織規定に就て大改正を加へたる後
職員の招致館を舉行せしむる當に目下取り
急ぎ調査中なりと云ふ從來の規定にては殆ど
は普通選舉見たらん如く苟も營業税（へ納じ
る者は其税額が多寡に拘はらサ擧舉、被選舉
權と有するも是れ實情にして責任を重んずる
其議員を對する責任よりざるを以て今例の所
正にては何れも税の多寡に依りて權利の有無
を定め又は普通選舉年限と共に對等の有無を
關係を有することゝならんか亦た居留地通稱

○山崎勤雄問 去る二十日、修通官が張
郡間に受けしことは既記の如し、個人は効め
難は甚だ夫の死は崔冠雄、敏打の首にあるず
から首を断じたるものなりと主張せし由を
が所聞に達せしに及んで終に被殺致紀ありと
認せりとぞ一般には通官は自から首を断じ
死に至りしものならんとの説もありとか又
内部大團及び其子に出張したる趙性福、玄
の尚待誤委員よりは去る二十一日各々給長
に聞する一題の報告を指示せりと云ふ
○行刑既新たし、期約追加 雞林縣菜園に
は今例全員費一題を以つて第三大區となし
は今例全員費一題を以つて第三大區となし

別名と共に出せしめたり。仁川領事館の門前の一軒の館屋に於て、嶺山地方に小區組する所ありと又同團に於ては勸業中の一事務として、團員相互の間に於ける販立爲の資金及び小荷物授受等の取立を開始せんと之に關する定規一紙七項を規約中に追加し、仁川領事の認可を得たり。

●金氏の慈仁 北野小安制に一老嫗あり、無く兄弟をく、身は外孫女の家に寄す。孫女夫有せず、亦た頼る所無して、老嫗毎月三斗米所得ありに何處より出づるを知らず。怪しむ之を問ふ、嫗曰く、是れ西國金判書のおぼるを、予の外祖母は即ち金判書養父の乳母にありて、祖父存没して相續人無く血統を傳ふるを

祖父は在官の暇毎月三斗米を給し没するまで
 配んで此の恩恵此の身に傳はり今日に至るまで
 絶へず金判將忠仁の遺き物の比とべきなり
 せり 格はうて以て還納を留して所領金判書と
 以つ 則ち金判書其人なりと

한자에 의
이 죽고, 그
을
대군주 폐
일본주찰
경향야, 아
天眞陛下에
본
천황 폐하
대군주 폐
한사천하에

고종 21년 1월 10일
 갑오년 1월 10일
 조선정부
 가가지드
 신용을
 에, 조선
 잇섯더니
 스가公文
 內命
 命

각부디식
(부의)
야한거슬
저간의
하여, 시
지못하여
●政府送
물, 군부
사슬하여
또한지

● 各地方收

社告

本報社生... 漢城新報社

愛讀者諸君

漢城新報社

大君主陛下

之御慰問

大君主陛下... 臣等...

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

러가 지슈세는... 官報抄錄

향인의... 官報抄錄

나간... 官報抄錄

고... 官報抄錄

고... 官報抄錄

고... 官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

官報抄錄

● 漢城新聞 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

● 各機關之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

● 市民之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

● 市民之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

● 市民之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

● 市民之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

● 市民之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

● 市民之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

● 市民之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

● 市民之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

● 市民之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

● 市民之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

● 市民之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

● 市民之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

● 市民之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

● 市民之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

● 市民之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

● 市民之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

● 市民之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

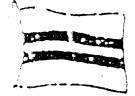
● 市民之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

● 市民之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

● 市民之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

● 市民之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日

● 市民之消息 ○ 昨(二)日 漢城新聞 ○ 昨(二)日



日本郵船會社 廣告

● 肥後丸 ○ 七月廿七日 出帆 同 廿六日 入

● 支海丸 ○ 七月廿三日 出帆 同 廿二日 入

● 豐島丸 ○ 七月廿一日 出帆 同 廿日 入

● 薩摩丸 ○ 七月十九日 出帆 同 十八日 入

● 長門丸 ○ 八月十三日 入港 同 出帆

● 顯益號 ○ 千四百九十九號

● 海龍號 ○ 日本郵船會社 仁川支店

● 信濃川丸 ○ 七月廿一日 入港 同 廿日 入

● 隅田川丸 ○ 七月十九日 入港 同 十八日 入

● 二見丸 ○ 七月廿一日 入港 同 廿日 入

● 筑後川丸 ○ 七月十九日 入港 同 十八日 入

● 白川丸 ○ 七月廿一日 入港 同 廿日 入

● 木曾川丸 ○ 七月十九日 入港 同 十八日 入

● 仁川荷客取扱所 ○ 廣告

● 昌興會社 ○ 特別廉價販賣

● 蜂印香蜜葡萄酒 ○ 生葡萄酒

● 白砂糖數品 ○ 白砂糖

● 東京館 ○ 廣告

● 瑞 ○ 最新

● 瑞 ○ 最新

● 瑞 ○ 最新

● 瑞 ○ 最新

● 瑞 ○ 最新

● 瑞 ○ 最新

● 瑞 ○ 最新

● 瑞 ○ 最新

● 瑞 ○ 最新

● 瑞 ○ 最新

● 瑞 ○ 最新

● 瑞 ○ 最新

支店

取扱所

千言萬語

會社

賣ルル酒酒泉品

香水、魚、和洋小間、器類數品

船

肥後國鮮魚
如モ此ノ鰯鮓ハ肥後國ノ有産ニシテ其
味ノ美好ナル速ク他品ク及ブ所ニシテ
且ツ豊日ハ經ルベシ有テ茶菓子トク成上
ノ品ナリ大地方ノ諸君一箱ヲ購テ試用シ
五ヘシコトヲ贊フ

精製東京製菓現

小林菓子製造所

小林菓子製造所

瑞西製

最新
最良
子スルスミルク

一箱金拾三圓五拾錢
一打金三圓五拾錢

一個金三拾錢

總屋分店

第三會正風集題

入花合而示左樂撰

新報二月份分銷全一月份第三版五客
批各次會無人花十批新報五日分集句語
子其

投込所 正風會

水 13

◎**南方和漢洋藥房**
各埠工部局、銀行、酒店、茶館、酒樓、戲院、俱備
一應俱全。仕候間不問多少，不限
期往來。御用之稱快。希察仕候。

成尾安五郎

スコット
乳
は、大正十一年、石炭
地を合併した。

レ 1 フル 江 乳 肺 病 氣 管

支炎、癰瘰及喉咽病

盛衰の小人 望しき効あるはス

るを知り給へ
全頭到着の頃には實割きあれば御成寄りと
加増を乞ふに可しこれなき時は下等な物

正有製藥所
スコット

及バウン敬白

日本特約販賣店

小西儀助

新編 丁卯年

料	衛	夏	さ	に	生	生
理	生	の	る	優	肉	魚
伽	竹	松	佃	さ	い	あ
羅	の	た		わ	ま	章
ふ	子	け	煮	け	鯛	魚
き						
●	●	●	●	●	●	●
其	福	味	海	時	時	茄
他	神	付	苔	雨	鳥	子
罐	漬	海	大	紫	代	辛
詰		苔	和	艸	卷	子
各			煮	屋	卷	漬
種			分	龜		
	泥	店			風	涼

鏡眼種各銀金 ● ト | レ イ パ
 賣販手 一 國 鮮 朝
 店支辻 靦泥 ● 店商辻 洞貞

バイレント煙草ノ銀今般東亞輸入元木
 付商店ト特約ヲ結ビ朝鮮國ニ於ケル一平
 販賣ヲ相登リ非常ノ勉強ヲ以テ販賣私ノ
 候間獲々御注文ノ相登其價候
 例ニ此他弊店販賣ノ煙草
 ソレントスリノナモンロスリーカスルニス
 トレントカントハナブニエカノオカレンフ
 ナル
 デンインブスカロイナルピン
 ビスルトカボカイングフンシヤ
 金銀各種ノ眼鏡ハ何レモ精巧ノ品ニシテ
 今般新到未仕仕候ニ付御受取ノ相登願
 上候
 此他弊店本案ノ販賣山首仕候ニ付
 併セテ御購求相候候

荷 着 廣 告 品
 銃 獵 獵
 西 洋 新 式 銃
 二 元 連 込 銃
 日 本 村 田 式 銃
 附 屬
 和 泉 商 會
 護 漠 履
 長 履
 西 洋 服 各 種
 帽 子

箱御寄泊料之値左ノ通り相定メ極々丁寧
ニ込仕候間格別愛顧願儀

一上等 壹圓
一中等 七十錢
一下等 五十錢
外二下等 三十五錢

弊店最金紋標油販賣相續ノ候補多少ニ限ラズ
御愛顧被下儀此致伏シテ奉聞候也
近頃第三拾貳號

阿津阪商店

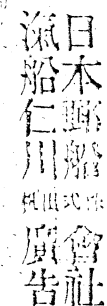
一 枚 貳錢五厘
一個月 貳拾五錢
三個月 七錢
六個月 壹圓拾五錢
五兩活字貳拾字請發行費同金六
錢且し行數及同金より割引仕
引金銀貨皆會合にて列申受候事

銀行支取人 庄田山主人

東京現役
三十人
田原旅館
發行所
漢城新報社

るものなり本
移住せりと云
出で冷水を以
に向て坐し雨
其狀宛がら

其の入口を
 之れ由ある
 事を追想
 せ我れ一
 の日あら
 へを温む
 べしと云ふ
 其の大要
 因商民の
 に不可不
 而して後
 げさせ給
 之れと知
 府と本邦
 氏の間
 氏の住宅
 會計局及
 佐官農田
 部に出遊
 よう同甘
 う被告は
 んとの諸
 しは好地
 と此等の
 て控告を
 た許され
 領家獄と
 たりし武
 農南十
 にて契約
 出資し財
 の我が頼
 尋は押押
 共たり
 翁住翁山
 延と受け
 の出資地
 代潮上貢
 しと以つ
 ひ免つて
 自然に消
 るまでは
 初總代事
 も違せら
 名の朝鮮
 用途を請
 と爲し相
 の決算を
 手と引き
 朝鮮人中
 し右は深
 松尾氏過
 致同組大坂支店長に受縛せしに恰かゝる之が後
 任者たるべき適當の人物をなしと云ふより株主
 總會の席上に於て松尾氏より分限のことを申
 出でたるに朝鮮株主も異地な之れを承諾し
 斯くは相違無きものなりと聞く因みに記
 す松尾氏は已に數日前當地を出發せり
 ●本月の商館會 一昨夜日韓貿易商社に
 於て開會せり當夜は加納領事の商業上有益を
 る談話ありたる由
 ●賣越銀券 去る十八日仁川居住清商同
 泰洋人李靜波等あるの郵便切手買入の爲め
 同地我が郵便局に来たりしに商人が差出した
 る情弊中一葉の賣越日本銀行兌換券ありたる
 より同局は假れを我が領事館に送る領事館より
 がは更らに之れを同地英領領事館に覆送し其
 の取調を請求せし由なるが英領事館の取調に
 よれば同類泰は右銀券と取引上朝鮮人金に水
 なるものより預收したりと云ふを以て更ら
 に商人を召喚して取問せしより右銀券は兩三
 日前在仁川の清商同泰より受取りたる旨申
 立たるにより更らに又た同泰を召喚して取問
 べしに同泰へは從來右の如き賣越兌換券と稱
 々神券するものありし其都度之れを親見せ
 ず其蓋に受取りて之れを行使したる旨申立た
 りと而して其關係者は何れも同意を以て行
 使したるの形迹をかりし由にて右賣越銀券は
 之れを沒收し關係人は一切免したることを證
 は右賣越銀券は信實頗る粗悪なるも印刷の
 技術は精く精巧にして且つ二三年前より已
 使用され居たるもの、如く餘程偽造し多少の
 注意をすにあらざれば其蓋と差別し難き程
 ありしと聞より此種賣越銀券は他にも行使さ
 り居るべければ取引の注意をすべきことあり
 ●支那巡查來る 通牧夫の唐紹儀氏の入京
 と殆んど相前後して三十名ばかりの支那巡查
 平服にて入京し十五名ばかりは水櫃積の船
 近に其の他は清國領事館遊藝館泊し居れ
 るとの報あり其の何の爲めに來來せしやは審
 からざるも時清國商民の保護若くは取締
 りと期するものにや此の程南大門通より於て
 二三の支那人爭鬧し居たるに獨り唐紹儀氏其
 の前を廻りかゝり此の体を見るや警察が附た
 る平服巡查として以上の支那人と商理事務に
 引致せしむたりと
 ●選傳夫の仕損じ 漢城郵政局選傳夫の月
 給は從來八圓なりしに此程間可にて之を七
 圓に減じたる由あるが是より選傳人等は不平
 の餘一同協議の末総數圓を以て津給を従前の
 如くに増ましめんとの決議より總數圓と額出
 でしに郵遞司にては早くも其れと見て取り郵
 便物の集配に差支へよう一方には此等を
 許す加減にあしらい假き他の一方には相當な
 る候補者を搜索し一人を得れば一人の辭職を
 逃さず掛け廻りの如して遂に其過半を入れ代へ
 たりと是に於て他の者共は敢て其目論見の組
 結したるに厲聲で抗議し豫求を求めて留職の
 運動を試みしも多かりしとは近來の一笑話
 ●異老異術 京城眞寶川郭松嶺市に老老な
 るものなり本で濟州の人にて少壯の時當地に
 移住せりと云ふ 老老養生の術、毎日味與湯と
 出で冷水を以て濯漱し太陽の昇ると俟ち東方
 に向て坐し兩手を以て日光を浴ふて之を浴



成尾安五郎

スコツト乳膏
 レーフル油
 支炎、癰瘡、喉咽病、氣管
 虛弱の小兒
 紐育製藥舖 スコツト
 及パウソ散白
 日本特約販賣店
 小西儀助
 朝鮮國一手販賣
 京城

時ノ古今ヲ問ハズ邦ノ東西ニ論ナク酒類ノ飲料アリ
酒ハ百藥ノ長ナリト又云フ酒ハ愁ヲ掃フノ符ナリト
然ル所以チ略陳スルハ
第一之シテ飲用スルハ休養ヲ増進ス酒ノ飲用ノ
食取ノ不足ヲ補フニ足ルベシ
第二之シテ飲用スルハ精神ヲ興奮シ以テ精神ノ
シタルヲ得ヘシ
第三之シテ常用スルハ血液ノ循環ヲ迅速ナラシ
身ヲ健全ナリト得ベシ
以上掲ゲタルハ皆チ藥用ブデケ酒ノ効ニアリ解ノ如
用シテ能ク其ノ精神ヲ興奮シ其思慮ヲ醒醒シ其悲愁
加之既ニ我邦軍國ニ在リ左ノ如キ實效ヲ得ナリ以テ
ナルヲ知ルニ足ルベシ

一地球印ブドウ酒
之シテ檢スルニ要質豊盛チ見ズ遠地運送及ビ
ナルモノト認定ス要スルニ今回ノ航路ハ本邦
夏期ニ出ア、夏期ニ返ヘテ殊ニ太陽ノ正下チ
多カラント想像セシム少シモ其ノ強壯チ見ズ
ト買ニ今一收クハ其ノ効能ヲ藥セザルモ以上ノ實
東京市日

發賣元
一京

朝鮮國特約店
一京

石川聯合會今回都合ニヨリ和泉聯合ト
及ビ火燭販賣ノ營業仕展開此段廣告仕
各國特許商
販賣及火燭
追テ本店發今回日本ヨリ馬鞍數多
文ノ程希有候

石川聯合會今回興博之趣知リ州知見
其料神計組織及火燭販賣營業仕
和泉聯合會
各國特許商
販賣及火燭
而本昨部應外ニ日本ヨリ馬鞍イ
價利販賣仕買求スルコト

旅
館
東京館
一皮座蒲團丸形角形夏
帽子日本向朝鮮向石
右新着廉價販賣仕候也
鈴木大阪堂支店

ナク酒糟ノ飲料アラザルハナシ右昔ヨリ傳ヘナドク
 然テ糟フノ節ナリト蓋シ又テ理ナキモ非ラズ今マ其ノ
 糟増進ス酒シ酸酒ノ酒漿ヲ盛メナクシムレバナリ以テ
 テ藥膏ニ以テ精神ノ疲勞ヲ醫ス再テ通尿ノ氣象ニ當マ
 ノ循環ヲ迅速ナクシメ以テ筋肉ノ腐蝕ヲ盛ムン得ベク
 酒ノ効ニアリ解ノ如クナレバ沈痼癰疽性ノ人ハ之レヲ
 忌ミテ懼進シ其惡熱ヲ除キ其積勞ヲ去ルヲ得ベキナリ
 是快テ藥リタリ以テ我ガ地球即適用ゾク酒ノ真

見不遠地運送及ビ遠洋航海ノ船雇用シテ長スル
今回ノ航路ハ本邦ヲ經シテロリ始終本國ノ港ヲ速ニ
殊ニ太閤ノ正下ヲ經過スルニ國度ニ及ビ必ゾ不便
モ其ノ跟踪ヲ見ザルハ品質甚好ナルモノト認定ス
ヒザルモノ以上ノ賞狀證明ニ附シテ知ルヘキナリ

和泉商會

和泉商會

肥後朝羊白
一
館
利便
玉ハ

用形夏
石嶺
土候也
星支店

小林菓子製造所

今校構内及ビ室内射的場ニ去ル十八日ヨリ大
町俱樂部内ニ開場仕候間御散歩御來遊候下
度伏シテ奉迎候

阪本大町
俱樂部内

中 嶋

料理	衛生	夏の	さる	に優	生肉	生魚
伽	竹	松	佃	さ	い	あ
飯	飯	飯	飯	飯	飯	飯
羅ふき	のた	わま	章	魚	鯛	魚
子	け	煮	け	く	鯛	魚
●其他罐詰各種	●福神漬	●味付海苔	●海苔大和煮	●時雨紫艸	●時鳥卷	●八千代卷
●茄子辛子漬	●	●	●	●	●	●
店分屋龜	店分屋龜	店分屋龜	店分屋龜	店分屋龜	店分屋龜	店分屋龜

⑤ イーリート、權想草ノ假令、般東取、輸入元木
 村商店ト特約ヲ結ビ、朝鮮國ニ於ケル一手
 販賣ヲ和替ト非常ノ勉強ヲ以テ賣弘メ
 後、間以テ印注文ノ枉率對照候
 間ニ此他弊所販賣ノ權想草
 フレンドレス、スリナモソドス、リーカス、レス
 レー、イ、ガノ、トコ、ハ、チ、ダ、ニー、ガノ、オ、ガル、フ
 ナルキ、ブル、イ、ン、ア、ン、ス、ニ、コ、ロ、リ、ナ、ビ、ン、ヘ、ン
 ド、ス、キ、ト、カ、バ、ク、キ、ン、グ、フ、ン、ン、ヤ、コ
 ⑥ 金銀各種ノ販賣ハ何レモ精巧ノ品ニシテ
 今般對留來着仕リ候ニ付、如愛求ノ程奉願
 上候
 ⑦ 此他弊店本業ノ銀貨、深山新着仕リ候ニ付
 昨ヒナ如、爲、取、奉、願、候

新刊定例

一	次	貳錢五厘
一	個月	貳拾五錢
三	個月	七拾錢
六	個月	壹圓貳拾五錢
五	錢	拾字貳拾字貳拾字壹圓金六錢

錢銀計行以反回數之半價計其
錢銀計行以反回數之半價計其

一上等	壹圓
一中等	七十錢
一下等	五十錢
外二下等	三十五錢

明治二十九年七月
東京現
三十八號
田原旅館

發行所 漢城新報社

社告

本社報生中、數名、朝氣、奮、躍、り、手、取、か、に、不、足、致、し、候、故、不、得、已、本、日、は、全、紙、二、三、の、新、報、發、行、仕、候、故、不、得、已、謝、可、被、下、候、

漢城新報社

愛讀者諸君

雜報

●原公使外部と訪ふ
原公使外部は、昨日、日、國、分、館、官、と、從、が、外、務、省、に、訪、見、し、大、臣、外、務、省、長、と、會、合、し、何、事、か、談、話、せ、ら、れ、り、

●米穀長官の訪見
目下、仁、川、米、穀、中、の、米、穀、長、官、ハ、ト、ロ、イ、氏、ハ、及、び、醫、官、ハ、ノ、ス、氏、に、此、の、米、穀、中、に、在、り、る、廿、五、日、米、公、使、ハ、ト、ロ、イ、氏、と、共、に、露、館、に、訪、り、大、臣、三、卿、下、に、拜、謁、せ、し、由、而、し、て、一、半、日、は、右、二、氏、共、に、會、合、し、

●秋、月、書、記、官、と、加、藤、領、事、の、夫、人
前、任、公、使、館、書、記、官、秋、月、左、郎、夫、氏、は、加、藤、領、事、の、夫、人、と、同、伴、し、昨、日、午、前、四、時、前、任、地、益、山、と、出、發、し、來、任、の、地、に、就、き、し、行、其、所、に、電、報、を、發、し、

●關、東、義、勇、隊、の、隊、長、ハ、ト、ロ、イ、氏、に、移、る
關、東、義、勇、隊、の、隊、長、ハ、ト、ロ、イ、氏、に、移、る、

●宮、内、省、の、改、組
昨日、の、報、に、記、せ、し、如、く、宮、内、省、の、改、組、ハ、一、萬、圓、の、大、金、を、生、産、し、た、り、

●宮、内、省、の、改、組
昨日、の、報、に、記、せ、し、如、く、宮、内、省、の、改、組、ハ、一、萬、圓、の、大、金、を、生、産、し、た、り、

●宮、内、省、の、改、組
昨日、の、報、に、記、せ、し、如、く、宮、内、省、の、改、組、ハ、一、萬、圓、の、大、金、を、生、産、し、た、り、

●宮、内、省、の、改、組
昨日、の、報、に、記、せ、し、如、く、宮、内、省、の、改、組、ハ、一、萬、圓、の、大、金、を、生、産、し、た、り、

●宮、内、省、の、改、組
昨日、の、報、に、記、せ、し、如、く、宮、内、省、の、改、組、ハ、一、萬、圓、の、大、金、を、生、産、し、た、り、

●宮、内、省、の、改、組
昨日、の、報、に、記、せ、し、如、く、宮、内、省、の、改、組、ハ、一、萬、圓、の、大、金、を、生、産、し、た、り、

任、の、事、を、順、手、と、云、ふ、

●新、法、律、英、譯、者、手、續、起、は、英、譯、者、愛、氏、ハ、昨、日、二、十、七、日、よ、り、愈、々、ク、レ、ド、ト、ハ、ウ、ス、氏、の、

●新、法、律、英、譯、者、手、續、起、は、英、譯、者、愛、氏、ハ、昨、日、二、十、七、日、よ、り、愈、々、ク、レ、ド、ト、ハ、ウ、ス、氏、の、

●新、法、律、英、譯、者、手、續、起、は、英、譯、者、愛、氏、ハ、昨、日、二、十、七、日、よ、り、愈、々、ク、レ、ド、ト、ハ、ウ、ス、氏、の、

●新、法、律、英、譯、者、手、續、起、は、英、譯、者、愛、氏、ハ、昨、日、二、十、七、日、よ、り、愈、々、ク、レ、ド、ト、ハ、ウ、ス、氏、の、

●新、法、律、英、譯、者、手、續、起、は、英、譯、者、愛、氏、ハ、昨、日、二、十、七、日、よ、り、愈、々、ク、レ、ド、ト、ハ、ウ、ス、氏、の、

●新、法、律、英、譯、者、手、續、起、は、英、譯、者、愛、氏、ハ、昨、日、二、十、七、日、よ、り、愈、々、ク、レ、ド、ト、ハ、ウ、ス、氏、の、

●新、法、律、英、譯、者、手、續、起、は、英、譯、者、愛、氏、ハ、昨、日、二、十、七、日、よ、り、愈、々、ク、レ、ド、ト、ハ、ウ、ス、氏、の、

●新、法、律、英、譯、者、手、續、起、は、英、譯、者、愛、氏、ハ、昨、日、二、十、七、日、よ、り、愈、々、ク、レ、ド、ト、ハ、ウ、ス、氏、の、

●新、法、律、英、譯、者、手、續、起、は、英、譯、者、愛、氏、ハ、昨、日、二、十、七、日、よ、り、愈、々、ク、レ、ド、ト、ハ、ウ、ス、氏、の、

●新、法、律、英、譯、者、手、續、起、は、英、譯、者、愛、氏、ハ、昨、日、二、十、七、日、よ、り、愈、々、ク、レ、ド、ト、ハ、ウ、ス、氏、の、

●新、法、律、英、譯、者、手、續、起、は、英、譯、者、愛、氏、ハ、昨、日、二、十、七、日、よ、り、愈、々、ク、レ、ド、ト、ハ、ウ、ス、氏、の、

●新、法、律、英、譯、者、手、續、起、は、英、譯、者、愛、氏、ハ、昨、日、二、十、七、日、よ、り、愈、々、ク、レ、ド、ト、ハ、ウ、ス、氏、の、

●新、法、律、英、譯、者、手、續、起、は、英、譯、者、愛、氏、ハ、昨、日、二、十、七、日、よ、り、愈、々、ク、レ、ド、ト、ハ、ウ、ス、氏、の、

●新、法、律、英、譯、者、手、續、起、は、英、譯、者、愛、氏、ハ、昨、日、二、十、七、日、よ、り、愈、々、ク、レ、ド、ト、ハ、ウ、ス、氏、の、

●新、法、律、英、譯、者、手、續、起、は、英、譯、者、愛、氏、ハ、昨、日、二、十、七、日、よ、り、愈、々、ク、レ、ド、ト、ハ、ウ、ス、氏、の、

千四百十九類 部長 ヴィルソン

卷之十

在初著原價則賣仙何也

伏レ奉願レ内ニ聞
但レ羅士
但レ英

伏レ奉願レ内ニ聞
但レ羅士
但レ英

川支店
廣告

特別廉價販賣
●キリンビール
●アサヒビール
●アサダビール
●蜂印香葡萄酒
●生葡萄酒
●平野礦泉
●白砂糖數品
●外●
●アサダビール
●キリンビール
●アサヒビール
●アサダビール
●蜂印香葡萄酒
●生葡萄酒
●平野礦泉
●白砂糖數品
●外●
●アサダビール
●キリンビール
●アサヒビール
●アサダビール
●蜂印香葡萄酒
●生葡萄酒
●平野礦泉
●白砂糖數品
●外●

廣告
京城中區長通坊アツル公に會社を新設マ
工部局機器局に鐵物及石炭等ノ賣場
支店會社各色鐵物及石炭等ノ賣場
支店會社各色鐵物及石炭等ノ賣場
支店會社各色鐵物及石炭等ノ賣場

瑞西製
最新
一箱金拾三圓五拾錢
一打金三圓五拾錢
一個金三拾錢
京屋分店

和漢洋藥廣賣
●藥用方和漢洋藥廣賣
●藥用方和漢洋藥廣賣
●藥用方和漢洋藥廣賣
●藥用方和漢洋藥廣賣
●藥用方和漢洋藥廣賣

朝鮮船
●肥後朝鮮船
●肥後朝鮮船
●肥後朝鮮船
●肥後朝鮮船
●肥後朝鮮船

小林菓子製造所
●小林菓子製造所
●小林菓子製造所
●小林菓子製造所
●小林菓子製造所

銃 鹿
●西洋新式銃
●日本村田式銃
●附屬
●和護漢履
●長履
●西洋服各種
●會帽

生魚 生肉 夏の衛生料理
●飯 章 魚 茄子 辛子漬
●あ ま 鯛 八千代 卷
●い わ け 煮 時雨 紫 卷
●さ け 煮 時雨 紫 卷
●佃 煮 時雨 紫 卷
●松 煮 時雨 紫 卷
●竹 煮 時雨 紫 卷
●伽 煮 時雨 紫 卷

金銀各種眼鏡
●金銀各種眼鏡
●金銀各種眼鏡
●金銀各種眼鏡
●金銀各種眼鏡

阿津阪商店
●阿津阪商店
●阿津阪商店
●阿津阪商店
●阿津阪商店